

**豊中市
在宅医療関係機関
アンケート調査結果報告書**

目 次

調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1
訪問看護事業所アンケート調査の結果	2
1. 事業所の状況	2
2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況	10
3. 他機関との連携状況	12
4. 訪問看護に関する主な相談先	16
5. 訪問看護サービスの提供にあたっての課題	17
6. 在宅医療の充実のために必要なこと	18
7. 「看取り」の現状と課題について	19
在宅療養支援診療所アンケート調査の結果	21
1. 診療所の状況	21
2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況	24
3. 他機関との連携状況	26
4. 在宅医療で困難に感じる事	30
5. 在宅医療に関する主な相談先	31
6. 24時間体制に対する負担感	31
7. 在宅医療の充実のために必要なこと	32
8. 「看取り」の現状と課題について	33
在宅療養支援歯科診療所アンケート調査の結果	35
1. 診療所の状況	35
2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況	38
3. 他機関との連携状況	40
4. 在宅医療で困難に感じる事	44
5. 在宅医療に関する主な相談先	45
6. 在宅医療の充実のために必要なこと	46
在宅患者訪問薬剤管理指導実施薬局アンケート調査の結果	47
1. 薬局の状況	47
2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況	49
3. 他機関との連携状況	51
4. 訪問薬剤管理指導で困難に感じる事	54
5. 訪問薬剤管理指導に関する主な相談先	55
6. 在宅医療の充実のために必要なこと	56

調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定するため、介護や医療の関係者の現状や課題、ニーズなどを把握するとともに、高齢者福祉施策及び介護保険事業等を検討するために必要な資料を得ることを目的に実施しました。

2. 調査方法

調査対象	調査方法	調査期間
市内の訪問看護事業所：64事業所	郵送による配布・回収	令和5年（2023年） 4月11日～24日
市内の在宅療養支援診療所：86診療所		
市内の在宅療養支援歯科診療所：36診療所		
市内の在宅患者訪問薬剤管理指導実施 薬局：166事業所		

3. 回収状況

調査名	配布数	回収数	有効回収数	回収率	有効回収率
訪問看護事業所 アンケート調査	64部	39部	39部	60.9%	60.9%
在宅療養支援診療所 アンケート調査	86部	48部	48部	55.8%	55.8%
在宅療養支援歯科 診療所アンケート調査	36部	21部	21部	58.3%	58.3%
在宅患者訪問薬剤管理 指導実施薬局 アンケート調査	166部	94部	94部	56.6%	56.6%

4. 報告書の見方

- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は、小数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。

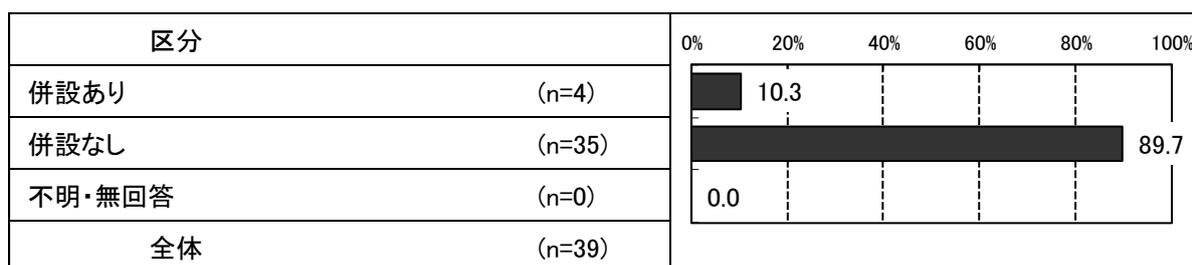
訪問看護事業所アンケート調査の結果

1. 事業所の状況

問1 貴事業所の状況について、以下の①～④についてお答えください。

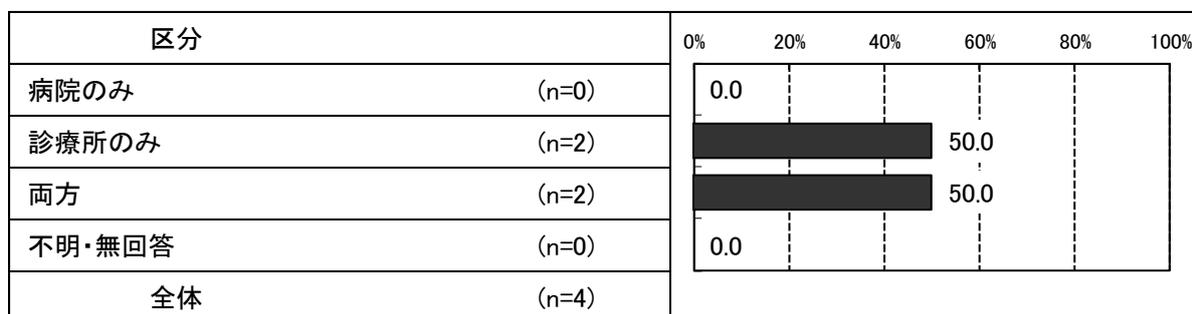
①同一法人の併設医療機関（1つに〇）

■ 同一法人の併設医療機関については、「併設なし」が89.7%、「併設あり」が10.3%となっています。



併設している施設

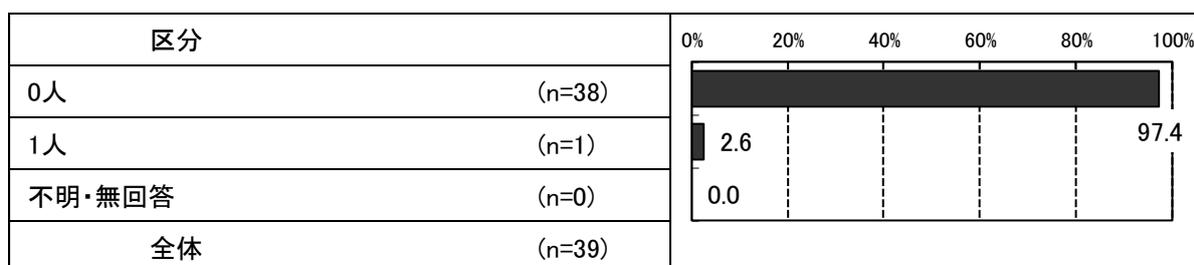
■ 併設している施設については、「診療所のみ」と「両方」が、ともに50.0%で最も多くなっています。



②従事者数（実人員）

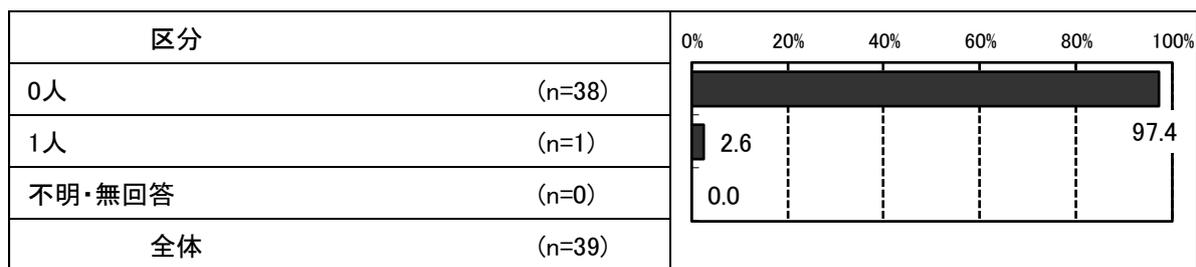
1-1. 保健師（常勤）

■ 保健師（常勤者、実人数）については、「0人」が97.4%、「1人」が2.6%となっています。



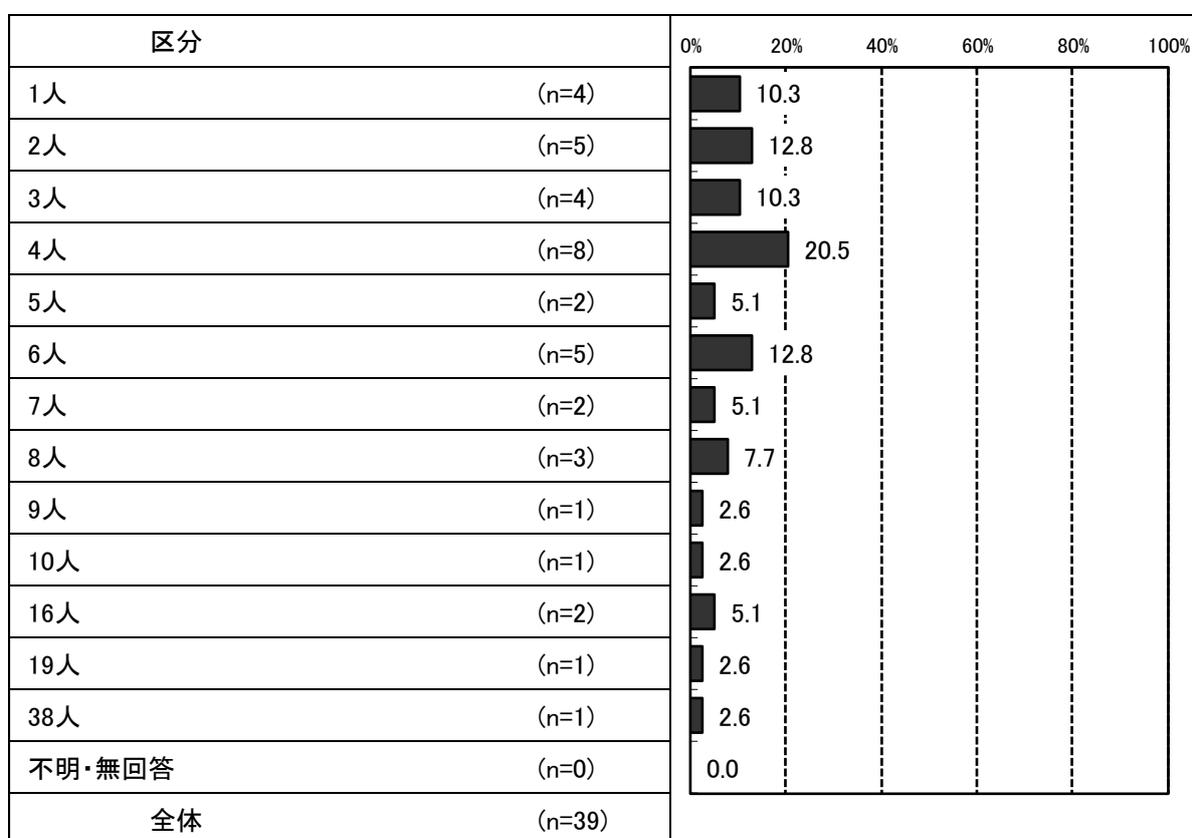
1-2. 保健師（非常勤）

■ 保健師（非常勤者、実人数）については、「0人」が97.4%、「1人」が2.6%となっています。



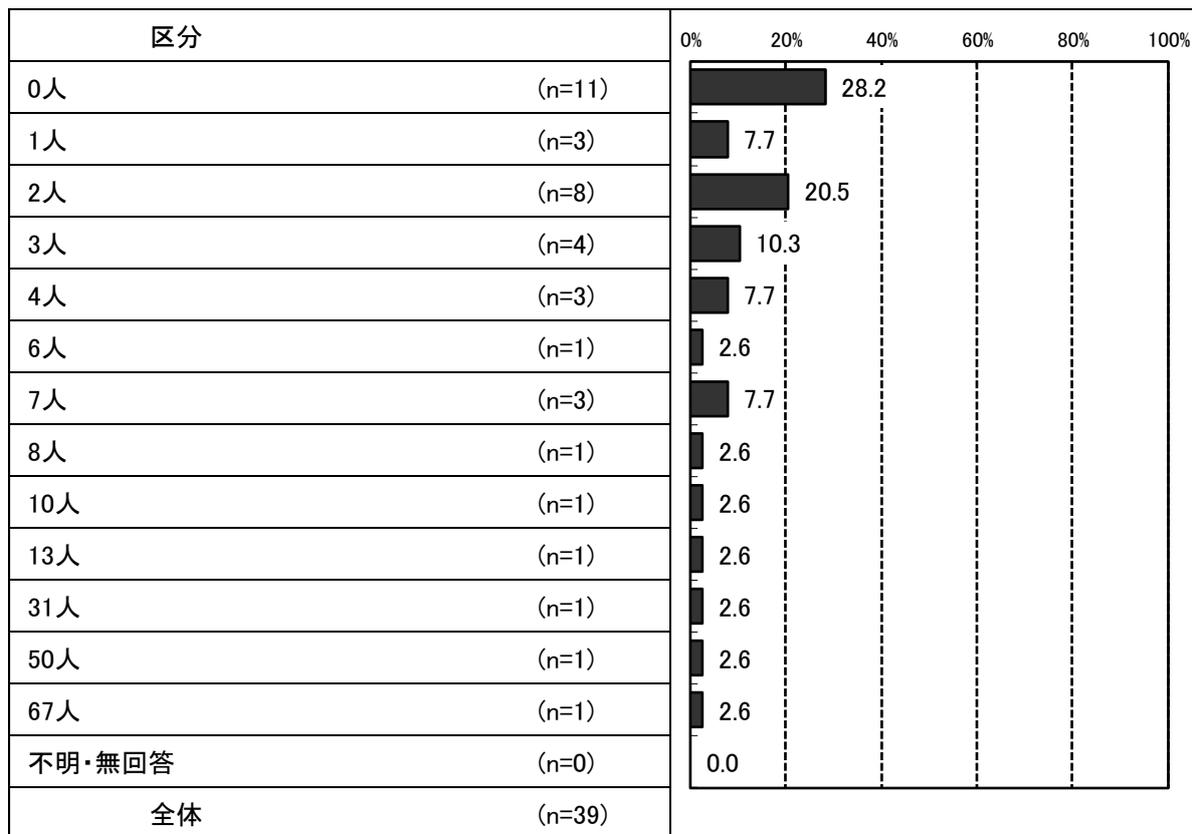
2-1. 看護師（常勤）

■ 看護師（常勤者、実人数）については、「4人」が20.5%で最も多く、「2人」と「6人」が、ともに12.8%、「1人」と「3人」が、ともに10.3%でつづいています。平均は6.3人となっています。



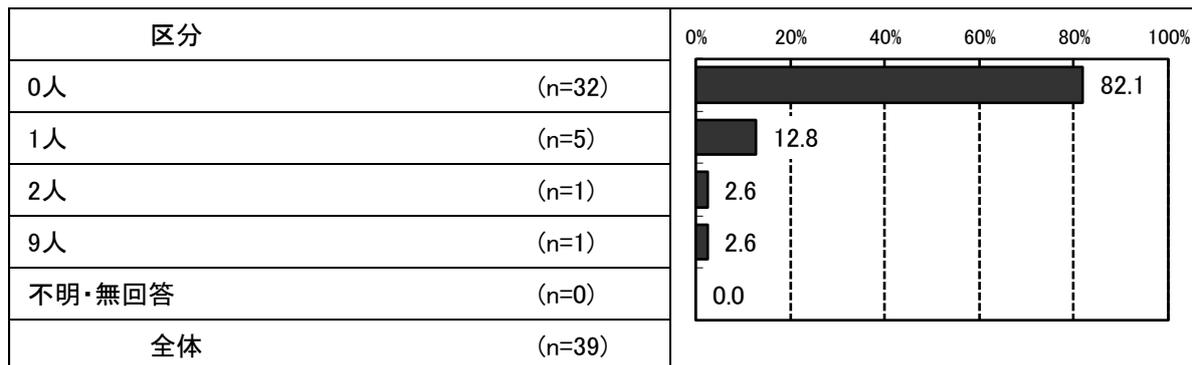
2-2. 看護師（非常勤）

- 看護師（非常勤者、実人数）については、「0人」が28.2%で最も多く、「2人」（20.5%）、「3人」（10.3%）がつづいています。平均は6.4人となっています。



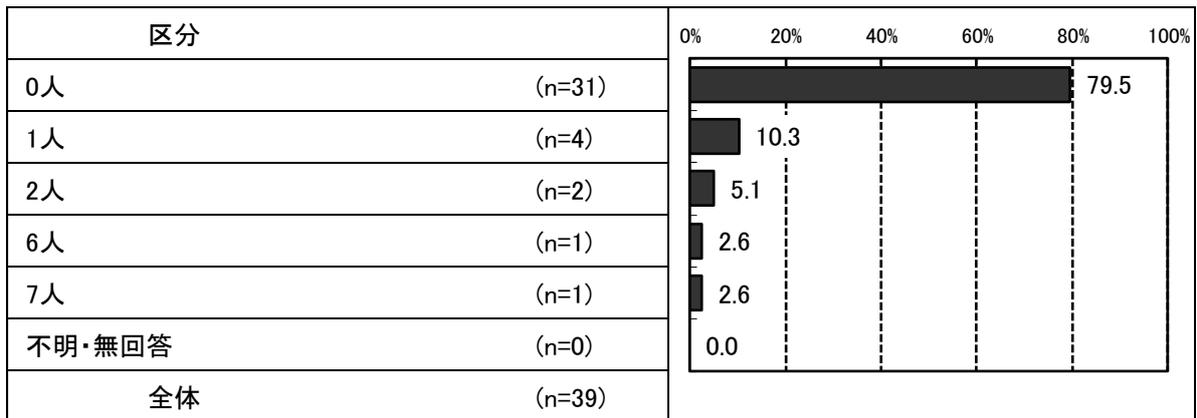
3-1. 准看護師（常勤）

- 准看護師（常勤者、実人数）については、「0人」が82.1%で最も多く、「1人」（12.8%）、「2人」と「9人」が、ともに2.6%がつづいています。平均は0.4人となっています。



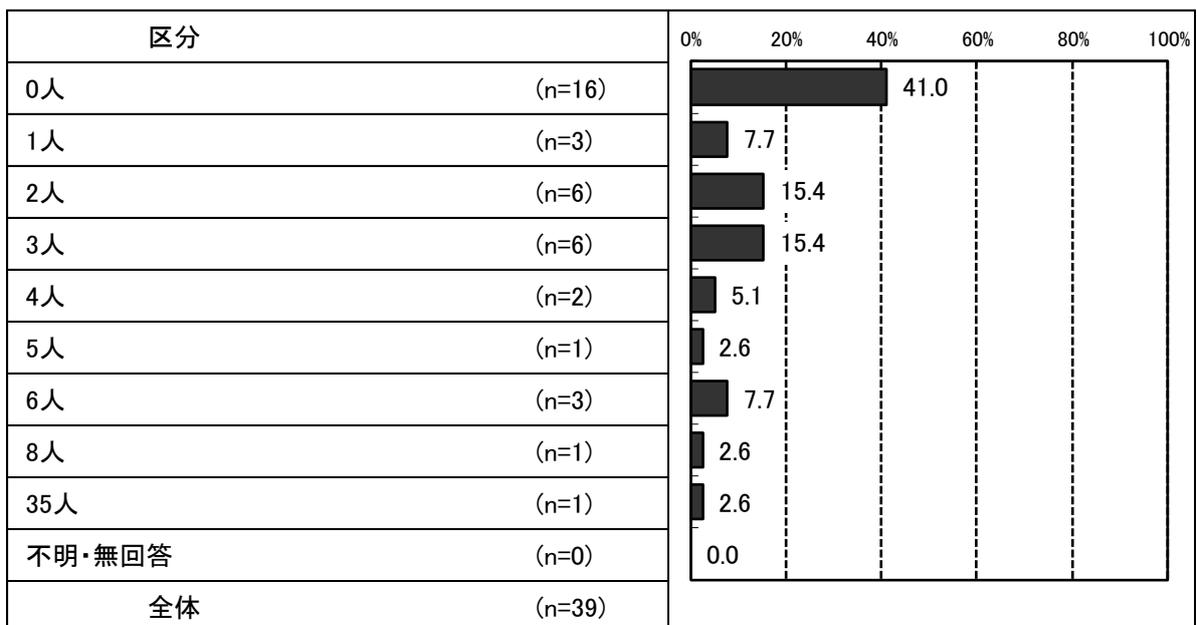
3-2. 准看護師（非常勤）

■ 准看護師（非常勤者、実人数）については、「0人」が79.5%で最も多く、「1人」（10.3%）、「2人」（5.1%）がつづいています。平均は0.5人となっています。



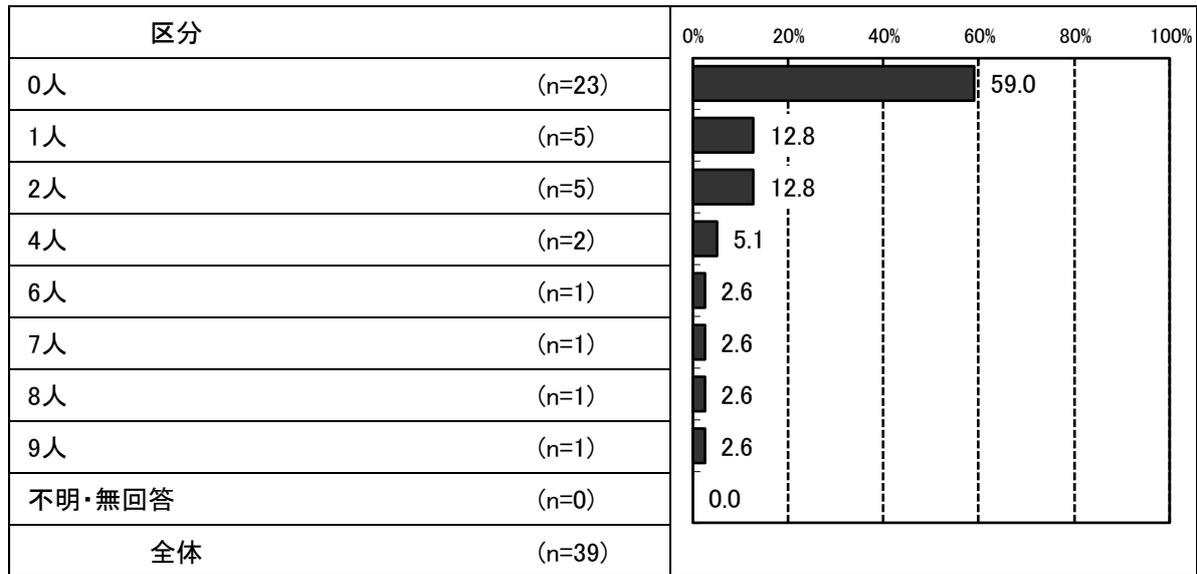
4-1. 理学療法士（PT）（常勤）

■ 理学療法士（常勤者、実人数）については、「0人」が41.0%で最も多く、「2人」と「3人」が、ともに15.4%、「1人」と「6人」が、ともに7.7%がつづいています。平均は2.7人となっています。



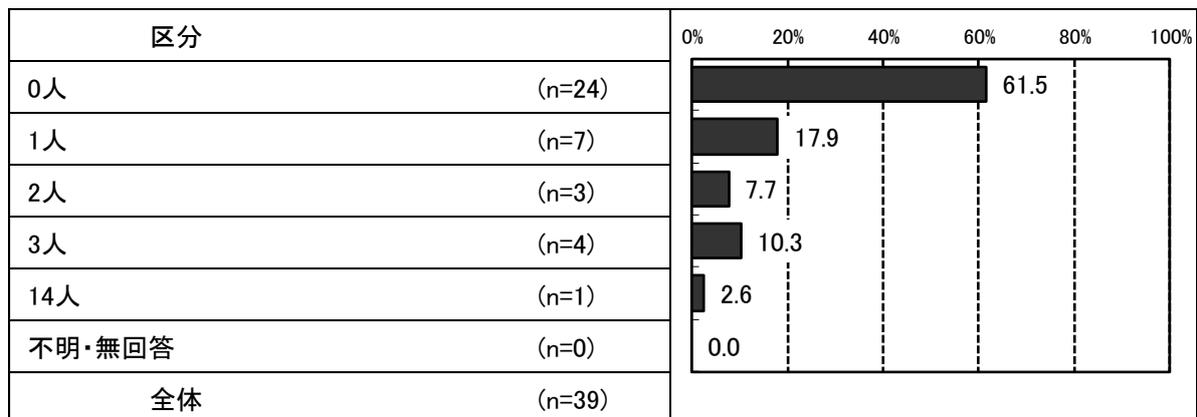
4-2. 理学療法士(PT) (非常勤)

■ 理学療法士 (非常勤者、実人数) については、「0人」が59.0%で最も多く、「1人」と「2人」が、ともに12.8%、「4人」(5.1%)がつづいています。平均は1.4人となっています。



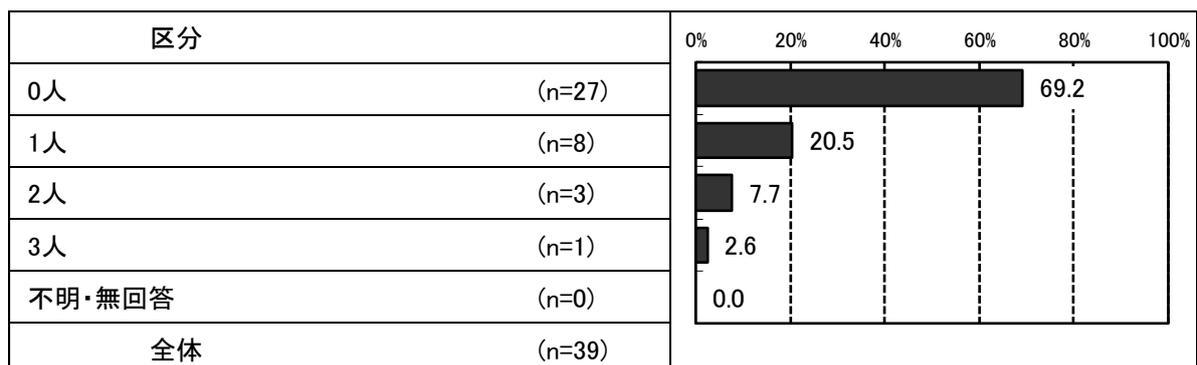
5-1. 作業療法士(OT) (常勤)

■ 作業療法士 (常勤者、実人数) については、「0人」が61.5%で最も多く、「1人」(17.9%)、「3人」(10.3%)がつづいています。平均は1.0人となっています。



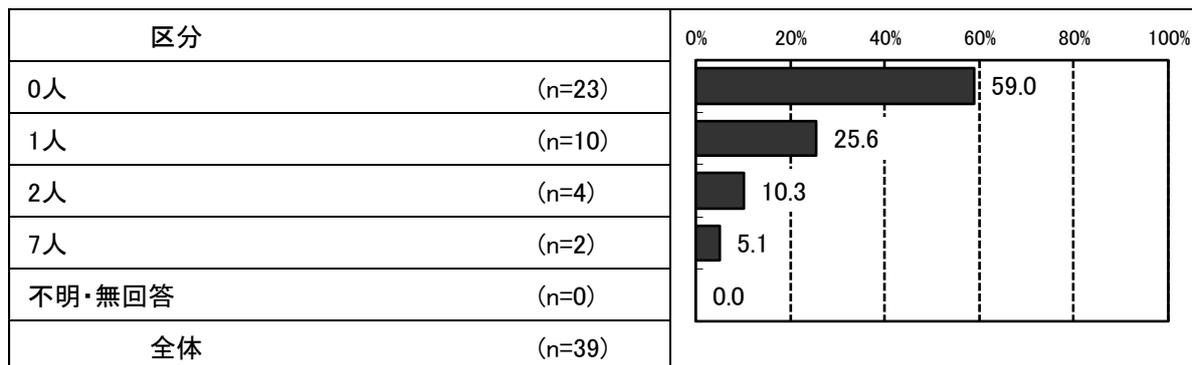
5-2. 作業療法士(OT) (非常勤)

■ 作業療法士 (非常勤者、実人数) については、「0人」が69.2%で最も多く、「1人」(20.5%)、「2人」(7.7%)がつづいています。平均は0.4人となっています。



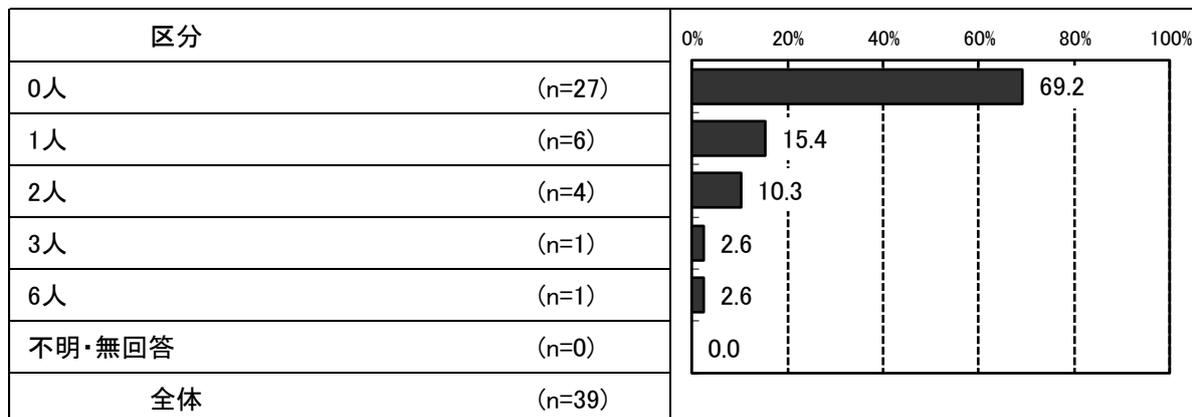
6-1. 事務職員（常勤）

■ 事務職員（常勤者、実人数）については、「0人」が59.0%で最も多く、「1人」（25.6%）、「2人」（10.3%）がつづいています。平均は0.8人となっています。



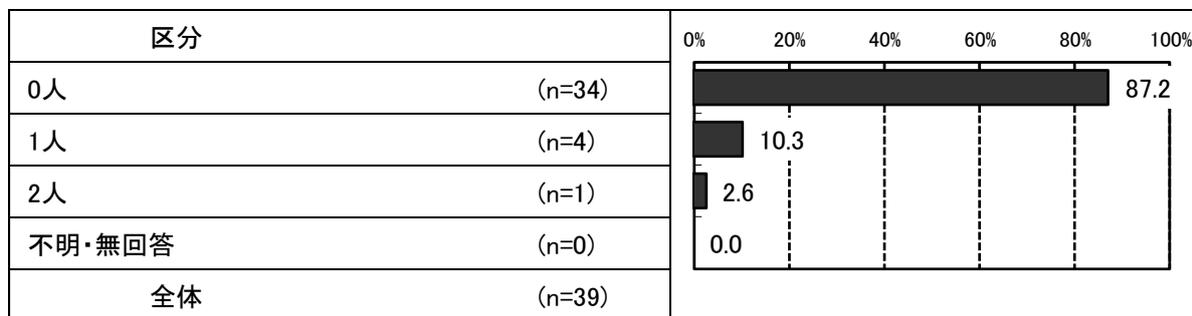
6-2. 事務職員（非常勤）

■ 事務職員（非常勤者、実人数）については、「0人」が69.2%で最も多く、「1人」（15.4%）、「2人」（10.3%）がつづいています。平均は0.6人となっています。



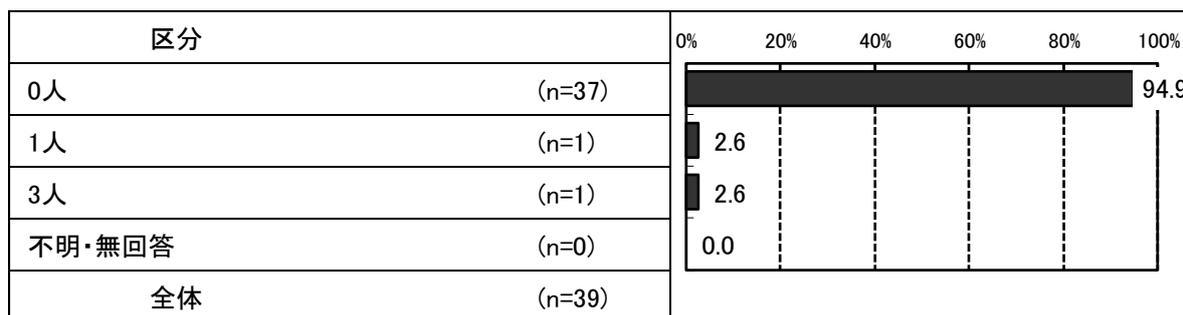
7-1. その他（常勤）

■ その他（常勤者、実人数）については、「0人」が87.2%で最も多く、「1人」（10.3%）、「2人」（2.6%）がつづいています。平均は0.2人となっています。



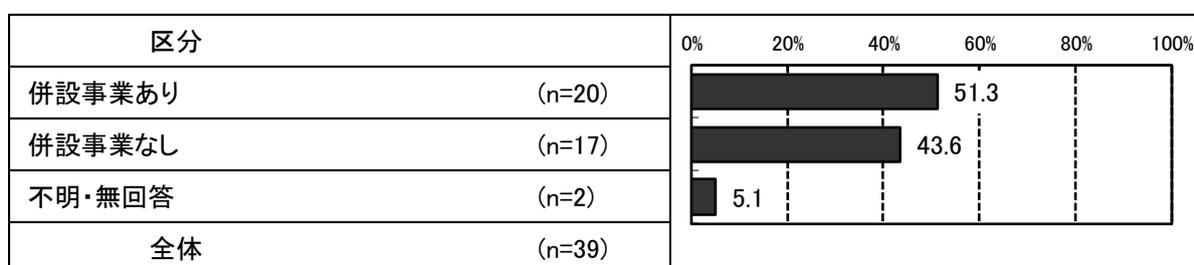
7-2. その他（非常勤）

- その他（非常勤者、実人数）については、「0人」が94.9%で最も多く、「1人」と「3人」が、ともに2.6%でつづいています。平均は0.1人となっています。



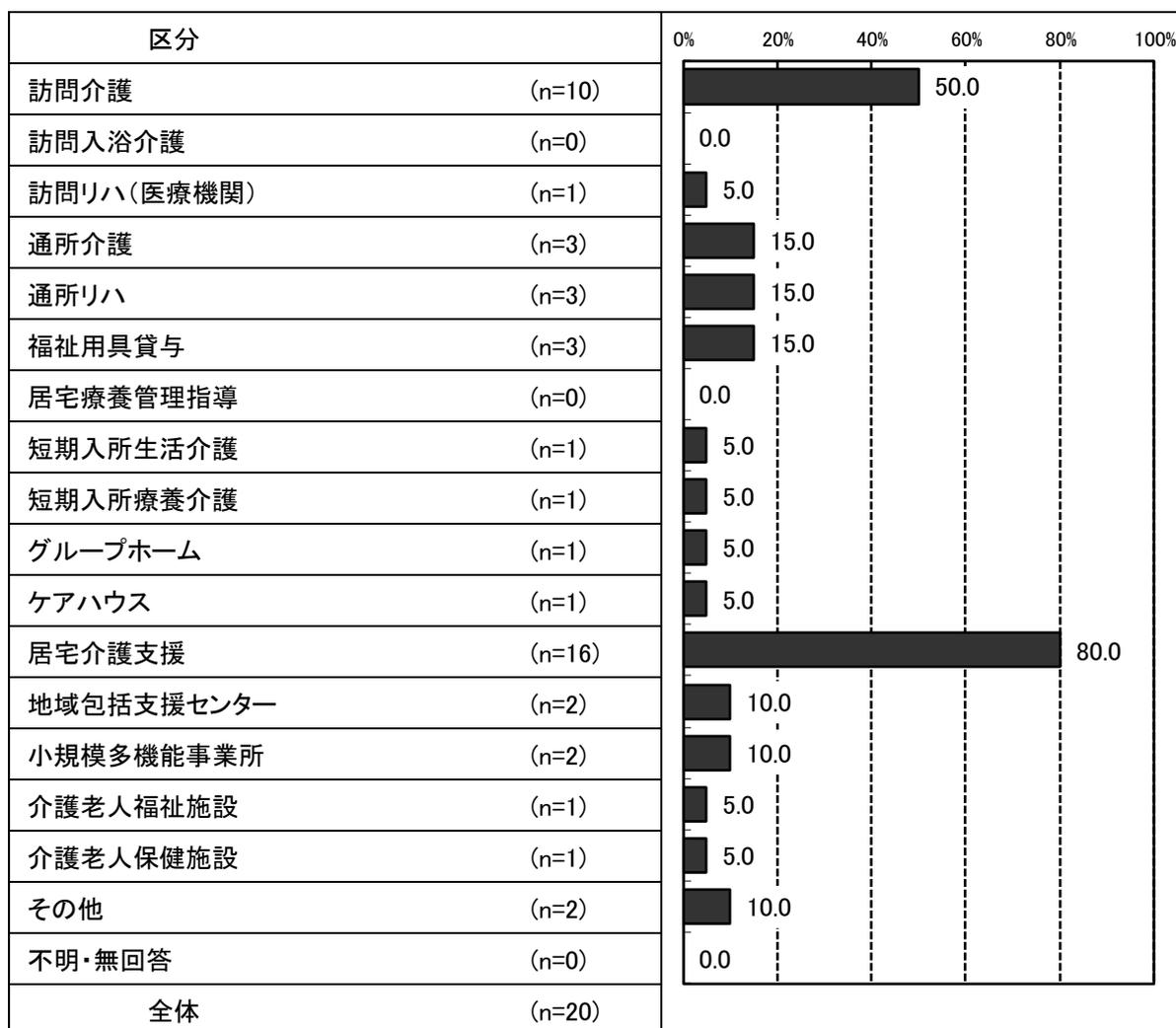
③同一法人の併設事業

- 同一法人の併設事業については、「併設事業あり」が51.3%、「併設事業なし」が43.6%となっています。



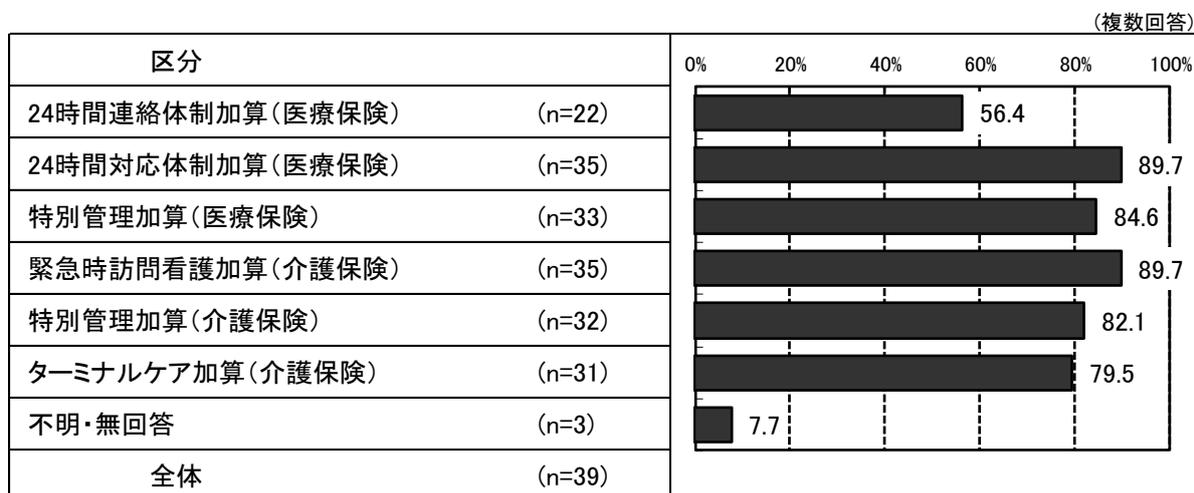
併設している事業

■ 併設している事業については、「居宅介護支援」が80.0%で最も多く、「訪問介護」(50.0%)、「通所介護」と「通所リハ」と「福祉用具貸与」が、ともに15.0%でつづいています。



④届出加算項目 (あてはまるものすべてに○)

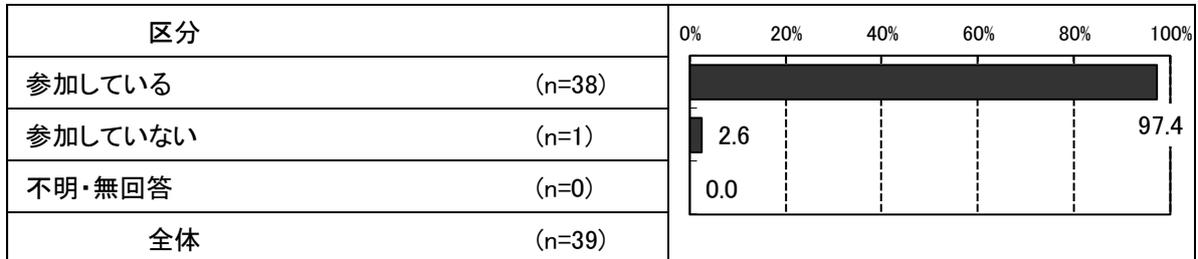
■ 届出加算項目については、「24時間対応体制加算(医療保険)」と「緊急時訪問看護加算(介護保険)」が、ともに89.7%で最も多く、「特別管理加算(医療保険)」(84.6%)、「特別管理加算(介護保険)」(82.1%)がつづいています。



2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況

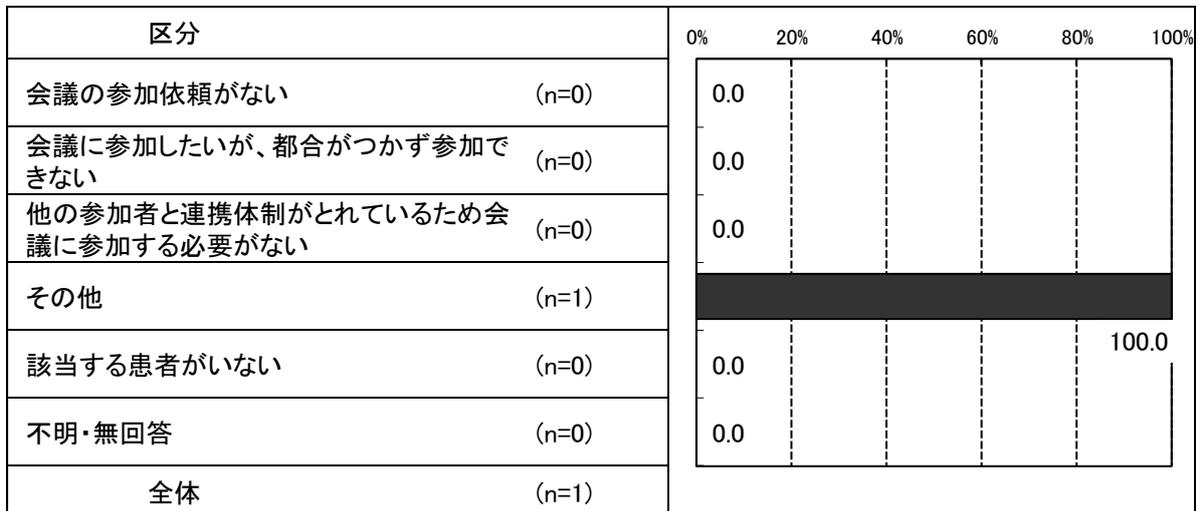
問2 病院からの退院患者(受け持ち患者)について、退院時カンファレンスに参加していますか。
(○は1つ)

- 退院時カンファレンスに参加しているかについては、「参加している」が97.4%、「参加していない」が2.6%となっています。



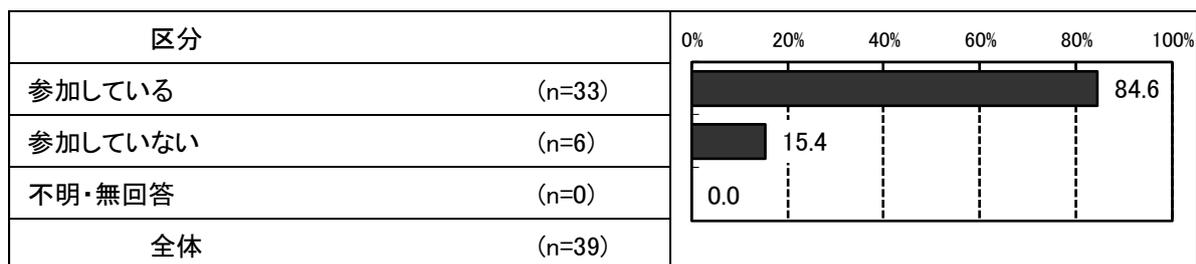
参加していない理由

- 「その他」が100.0%となっています。



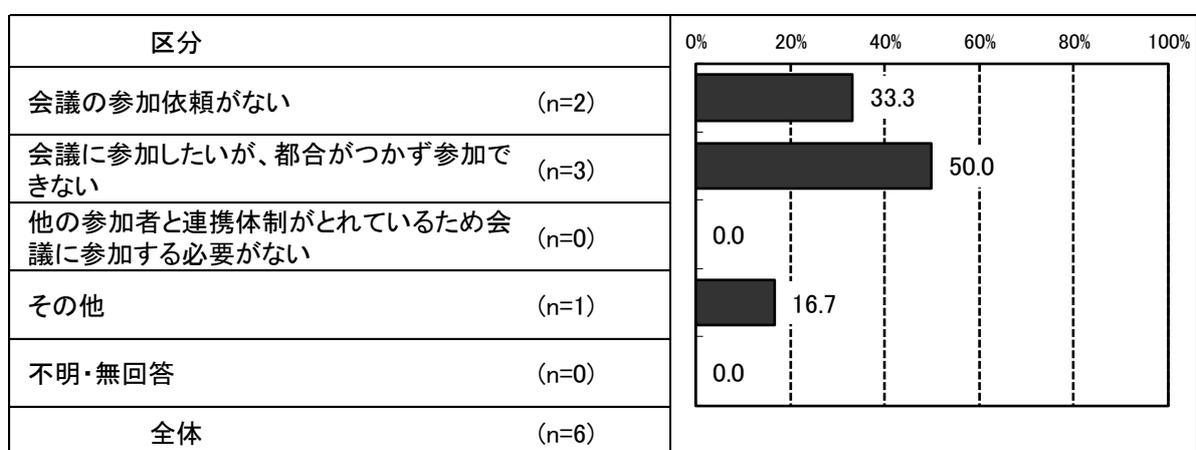
問3 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加していますか。(〇は1つ)

■ 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加しているかについては、「参加している」が84.6%、「参加していない」が15.4%となっています。



参加していない理由

■ 「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」が50.0%で最も多く、「会議の参加依頼がない」(33.3%)、「その他」(16.7%)がつづいています。



3. 他機関との連携状況

問4 貴事業所と他機関との連携状況についておうかがいします。以下の①～⑬の各機関との連携状況について、あてはまるものそれぞれに○をつけてください。(○は1つずつ)

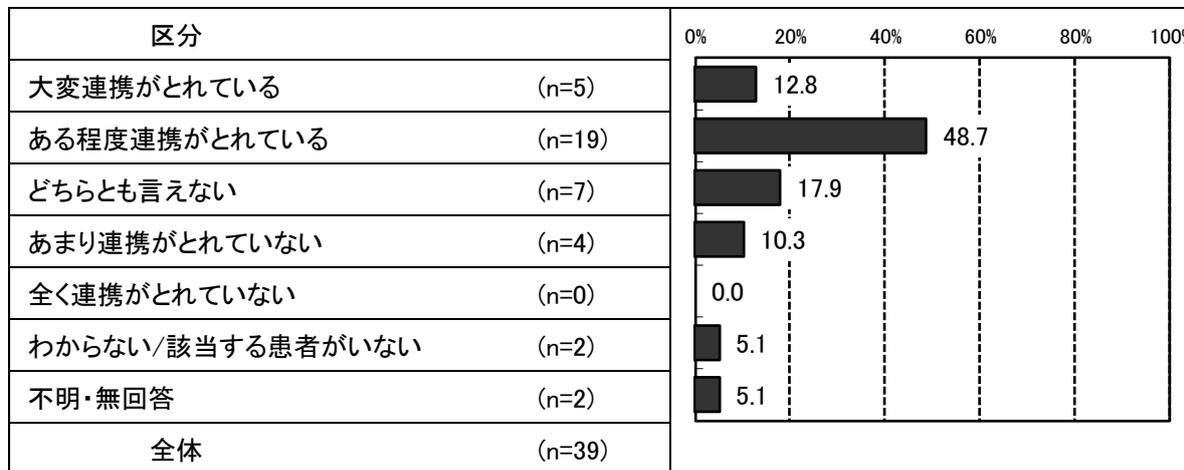
- 他機関との連携状況をみると、「連携できている」は「⑧居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」が69.2%で最も多く、「②在宅療養支援診療所」（53.8%）と「⑥他の訪問看護ステーション」（35.9%）が並びます。また、「やや連携できている」を加えると、「②在宅療養支援診療所」と「⑧居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」がともに92.3%で最も多く、「⑦地域包括支援センター」と「④訪問介護事業所」（ともに74.4%）、「①病院」と「⑤調剤薬局」（ともに71.8%）が並びます。
- 一方、「連携できていない」は「⑬豊中市役所（保健所を除く）」が10.3%で最も多く、「④歯科診療所」と「⑩リハビリテーション施設・事業所」（ともに7.7%）、「⑪豊中市在宅医療・介護連携支援センター」と「⑫豊中市保健所」（ともに5.1%）が並びます。また、「あまり連携できていない」を加えると、「④歯科診療所」が30.8%で最も多く、「⑬豊中市役所（保健所を除く）」（20.6%）、「③診療所（在宅療養支援診療所を除く）」（12.9%）が並びます。
- なお、「関わりがない」は「⑪豊中市在宅医療・介護連携支援センター」が25.6%で最も多く、「④歯科診療所」と「⑩リハビリテーション施設・事業所」（ともに12.8%）、「⑫豊中市保健所」と「⑬豊中市役所（保健所を除く）」（ともに10.3%）が並びます。

全体=39		連携 でき ている	やや 連携 でき ている	どちら とも 言 えない	あまり 連 携 でき て い ない	連 携 でき て い ない	関 わり が な い	不 明 ・ 無 回 答
①病院	n	12	16	4	4	0	1	2
	%	30.8	41.0	10.3	10.3	0.0	2.6	5.1
②在宅療養支援診療所	n	21	15	2	0	0	0	1
	%	53.8	38.5	5.1	0.0	0.0	0.0	2.6
③診療所 (在宅療養支援診療所を除く)	n	11	15	5	4	1	2	1
	%	28.2	38.5	12.8	10.3	2.6	5.1	2.6
④歯科診療所	n	1	11	10	9	3	5	0
	%	2.6	28.2	25.6	23.1	7.7	12.8	0.0
⑤調剤薬局	n	9	19	9	1	0	0	1
	%	23.1	48.7	23.1	2.6	0.0	0.0	2.6
⑥他の訪問看護ステーション	n	14	9	10	2	1	2	1
	%	35.9	23.1	25.6	5.1	2.6	5.1	2.6
⑦地域包括支援センター	n	12	17	2	3	1	3	1
	%	30.8	43.6	5.1	7.7	2.6	7.7	2.6
⑧居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	n	27	9	2	0	0	0	1
	%	69.2	23.1	5.1	0.0	0.0	0.0	2.6
⑨訪問介護事業所	n	12	17	5	2	1	1	1
	%	30.8	43.6	12.8	5.1	2.6	2.6	2.6
⑩リハビリテーション施設・ 事業所	n	3	15	10	1	3	5	2
	%	7.7	38.5	25.6	2.6	7.7	12.8	5.1
⑪豊中市在宅医療・介護連携 支援センター	n	4	8	14	1	2	10	0
	%	10.3	20.5	35.9	2.6	5.1	25.6	0.0
⑫豊中市保健所	n	5	12	13	3	2	4	0
	%	12.8	30.8	33.3	7.7	5.1	10.3	0.0
⑬豊中市役所（保健所を除く）	n	3	12	12	4	4	4	0
	%	7.7	30.8	30.8	10.3	10.3	10.3	0.0

問5 豊中市において、以下の各場面で医療と介護の連携がとれていると思いますか。(①～④でそれぞれ○は1つ)

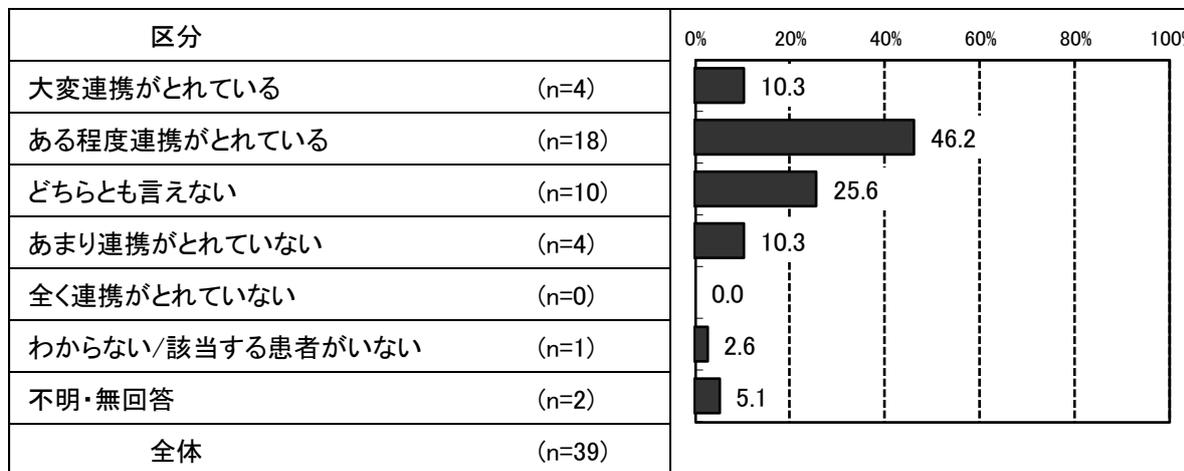
①日常療養

■ 日常療養の連携については、「ある程度連携がとれている」が48.7%で最も多く、「どちらとも言えない」(17.9%)、「大変連携がとれている」(12.8%)がつづいています。



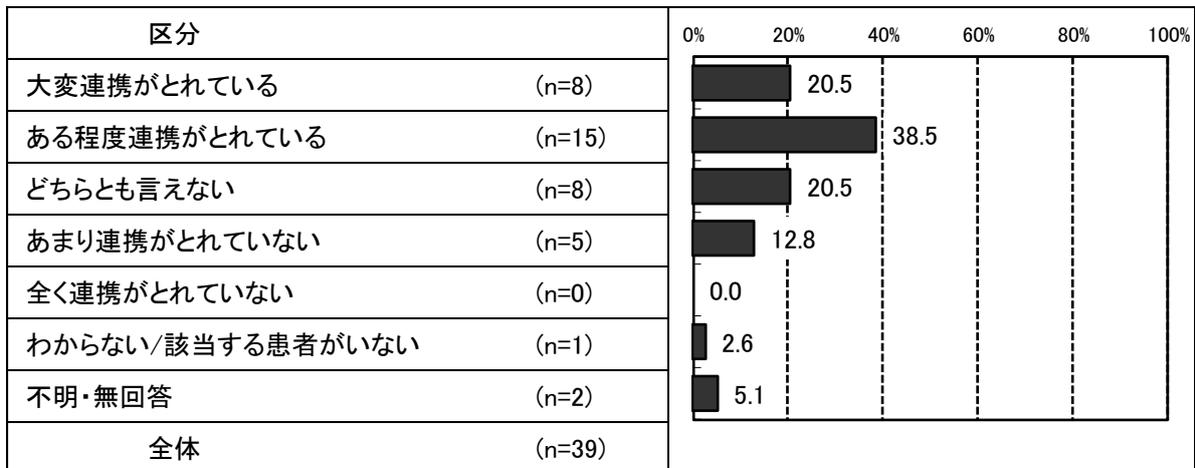
②入退院時

■ 入退院時の連携については、「ある程度連携がとれている」が46.2%で最も多く、「どちらとも言えない」(25.6%)、「大変連携がとれている」と「あまり連携がとれていない」が、ともに10.3%がつづいています。



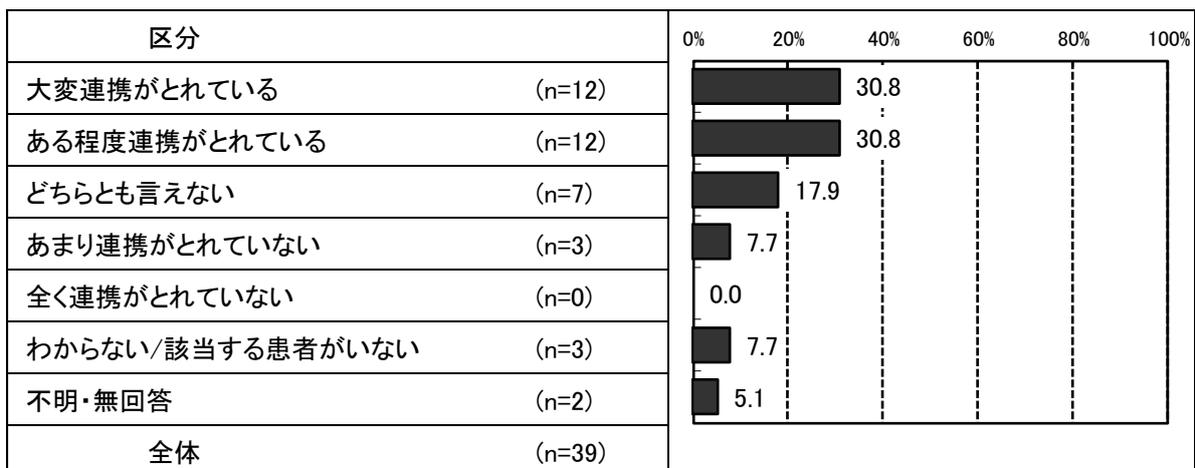
③急変時

■ 急変時の連携については、「ある程度連携がとれている」が38.5%で最も多く、「大変連携がとれている」と「どちらとも言えない」が、ともに20.5%、「あまり連携がとれていない」(12.8%)がつづいています。



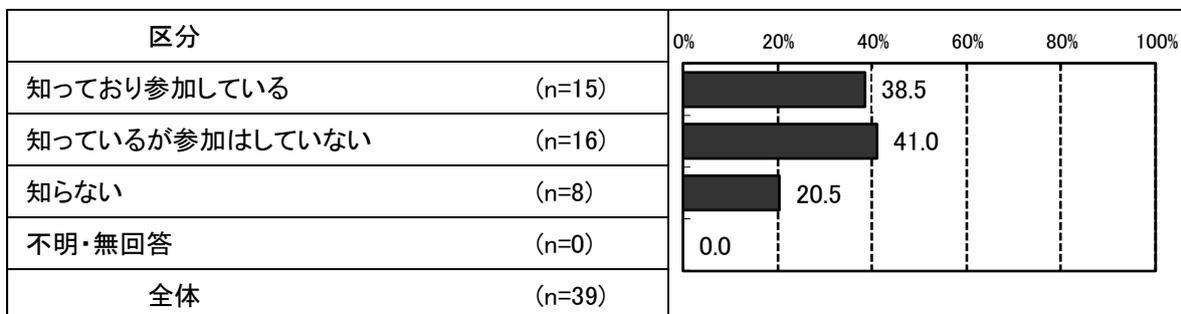
④看取り

■ 看取りの連携については、「大変連携がとれている」と「ある程度連携がとれている」が、ともに30.8%で最も多く、「どちらとも言えない」(17.9%)、「あまり連携がとれていない」と「わからない/該当する患者がいない」が、ともに7.7%がつづいています。



問6 豊中市では在宅医療・介護連携支援センター運営事業を通じて、医療・介護関係者を対象に、在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会など開催していますがご存じですか。(〇は1つ)

■ 在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会などについては、「知っているが参加はしていない」が41.0%で最も多く、「知っており参加している」(38.5%)、「知らない」(20.5%)がつづいています。



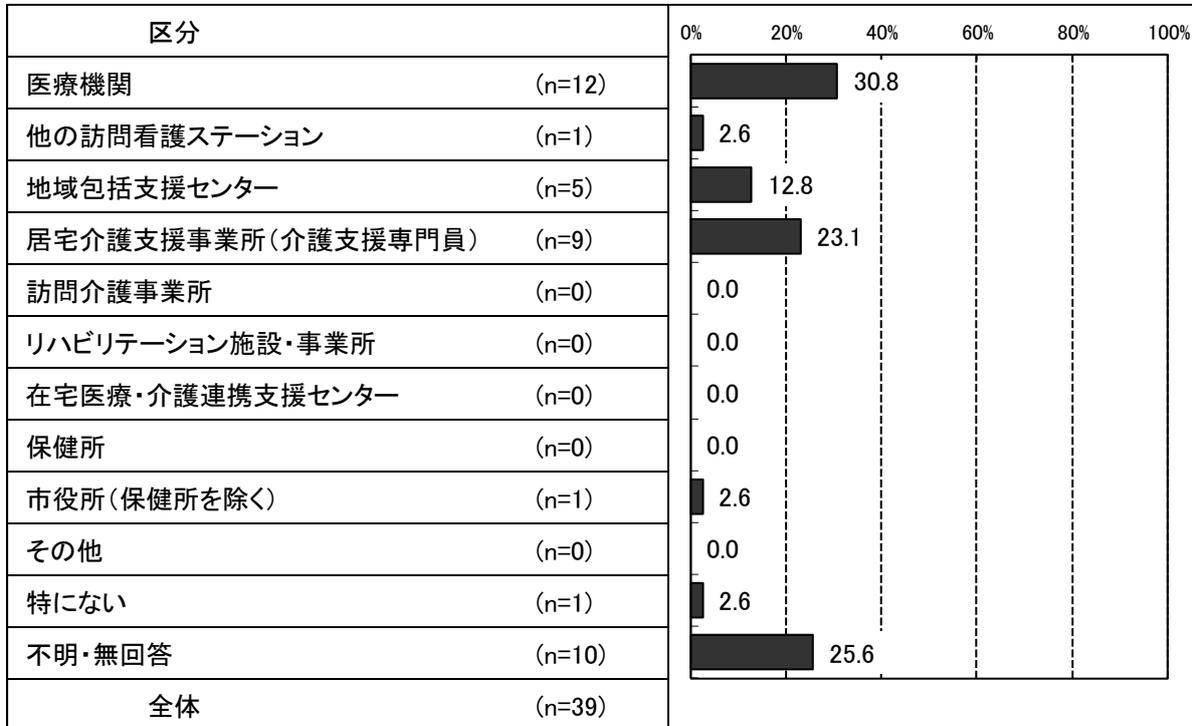
問7 在宅医療・介護連携支援センター運営事業で企画してほしいことなどがあればご自由にご記載下さい。

事例検討（1人の方を各場の方の立場で発表してみたい）。
家族へのサポート苦情対応、クレーム対応について、研修会等があればありがたいです。
人員確保について、ご指導頂きたいです。

4. 訪問看護に関する主な相談先

問8 訪問看護を行う中で、困難な事案に遭遇した場合、主にどこに相談を行っていますか。(主のところ1つに○)

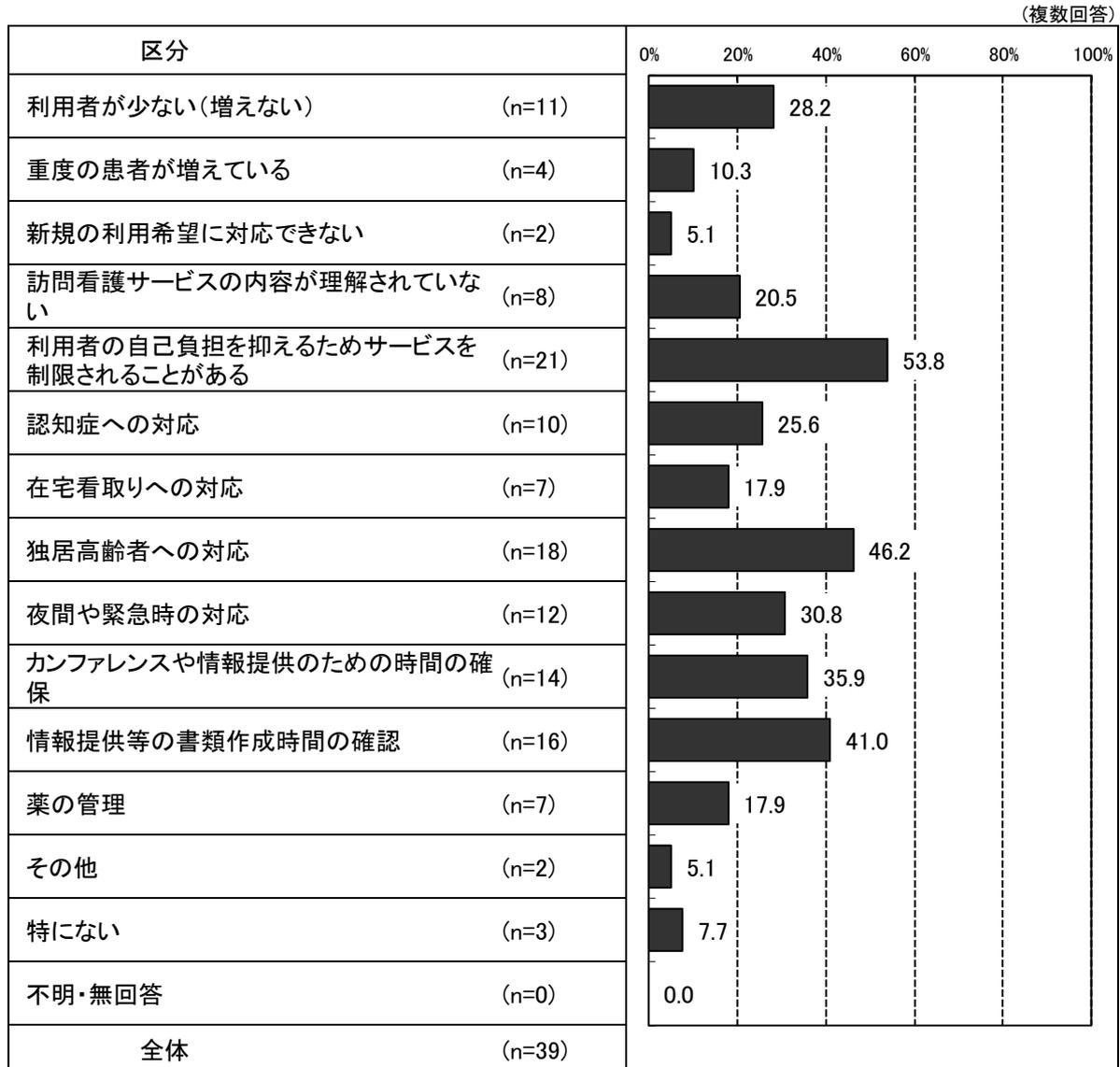
■ 主にどこに相談に行っているかについては、「医療機関」が30.8%で最も多く、「居宅介護支援事業所(介護支援専門員)」(23.1%)、「地域包括支援センター」(12.8%)がつづいています。



5. 訪問看護サービスの提供にあたっての課題

問9 サービスの提供にあたり、課題となっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

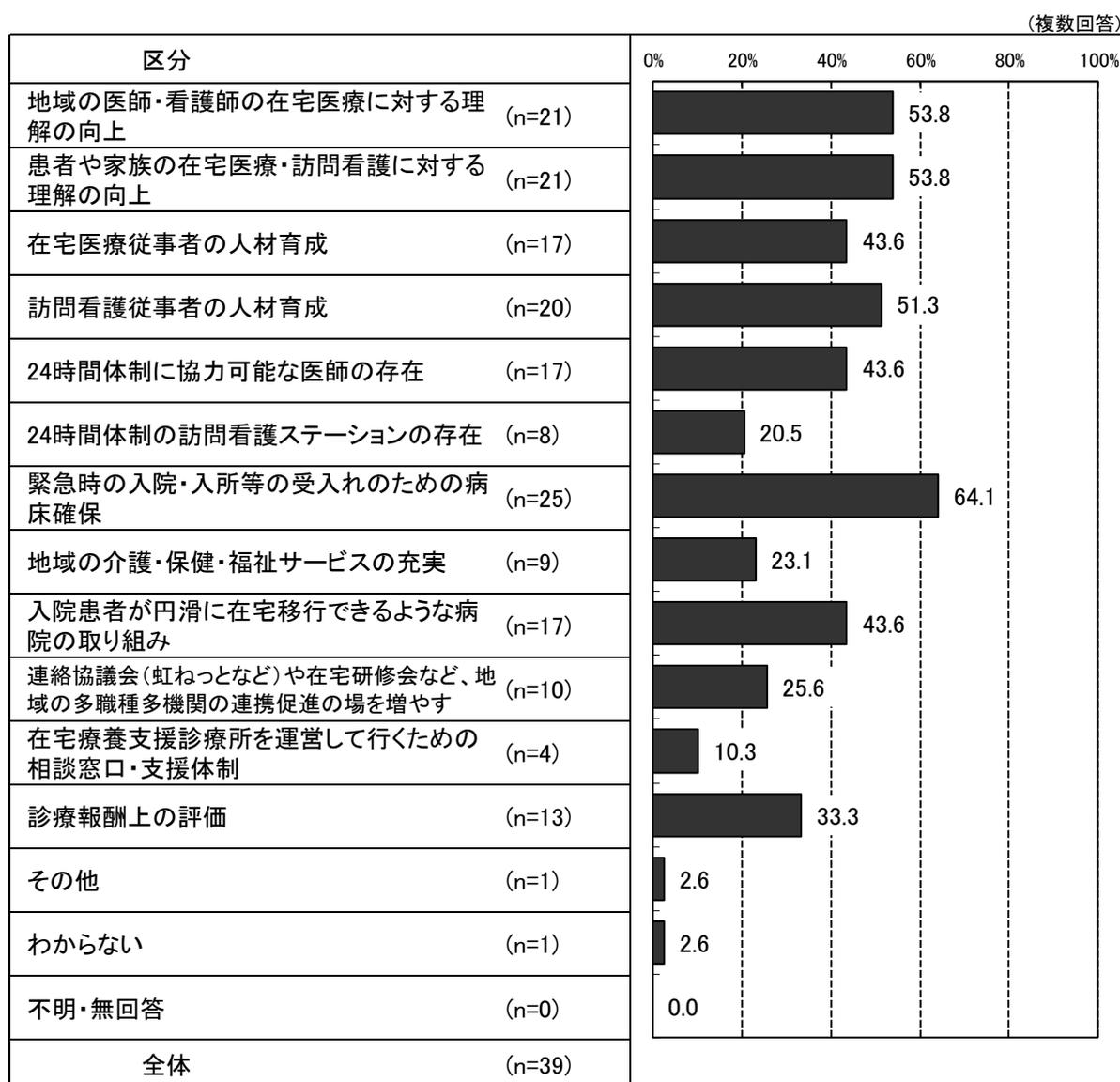
- サービスの提供で課題となっていることについては、「利用者の自己負担を抑えるためサービスを制限されることがある」が53.8%で最も多く、「独居高齢者への対応」(46.2%)、「情報提供等の書類作成時間の確認」(41.0%)がつついています。



6. 在宅医療の充実のために必要なこと

問 10 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

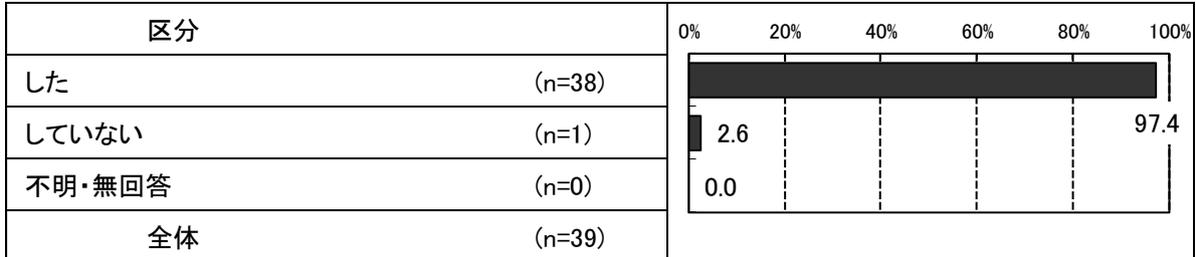
- 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことについては、「緊急時の入院・入所等の受入れのための病床確保」が64.1%で最も多く、「地域の医師・看護師の在宅医療に対する理解の向上」と「患者や家族の在宅医療・訪問看護に対する理解の向上」が、ともに53.8%、「訪問看護従事者の人材育成」(51.3%)がつづいています。



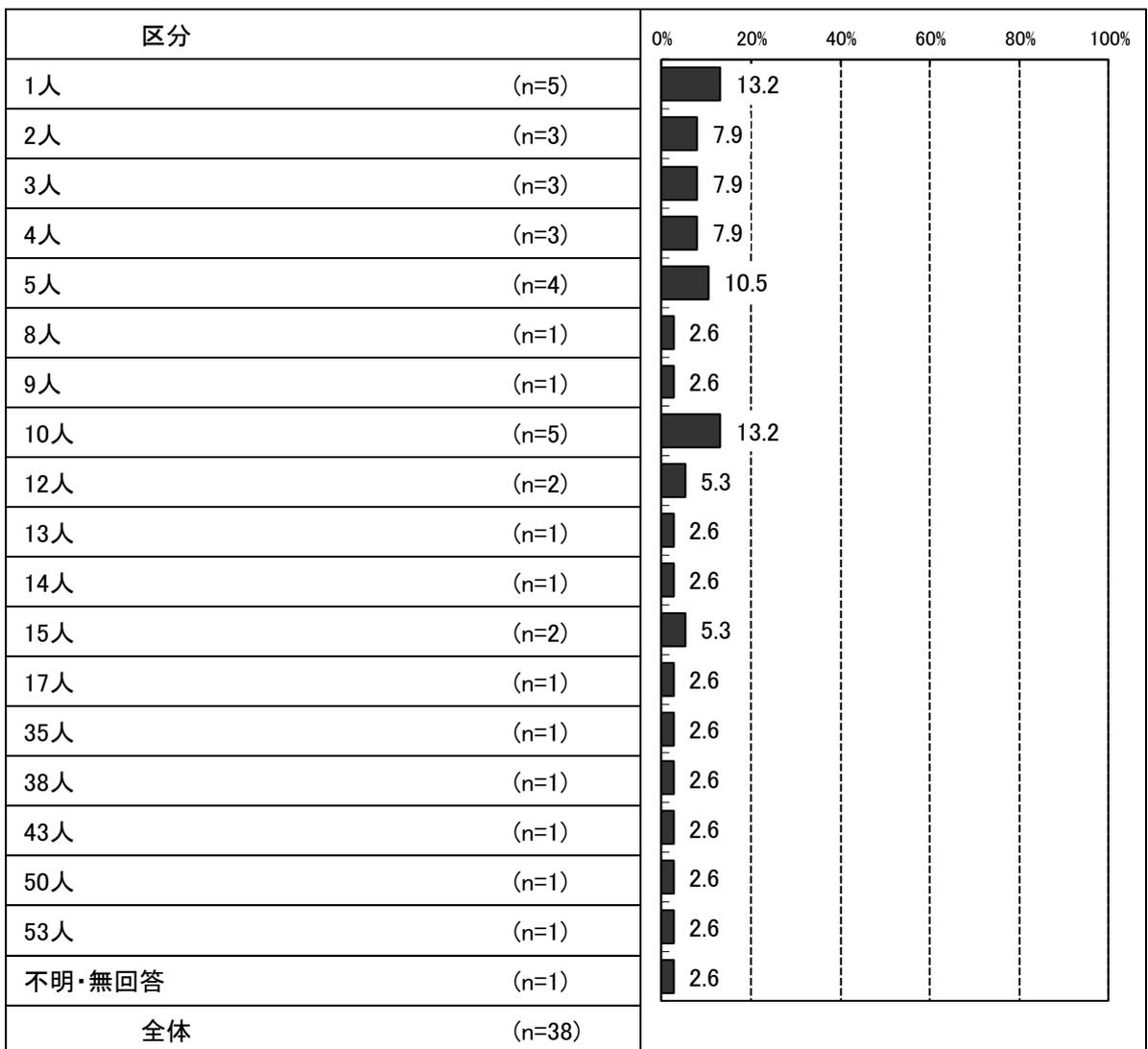
7. 「看取り」の現状と課題について

問 11 令和4年1月～12月の1年間で、貴事業所で看取りの支援・対応をされましたか。(1つに○)

- 1年間(令和4年1月～12月)に事業所で看取りの支援・対応をしたかについては、「した」が97.4%、「していない」が2.6%となっています。

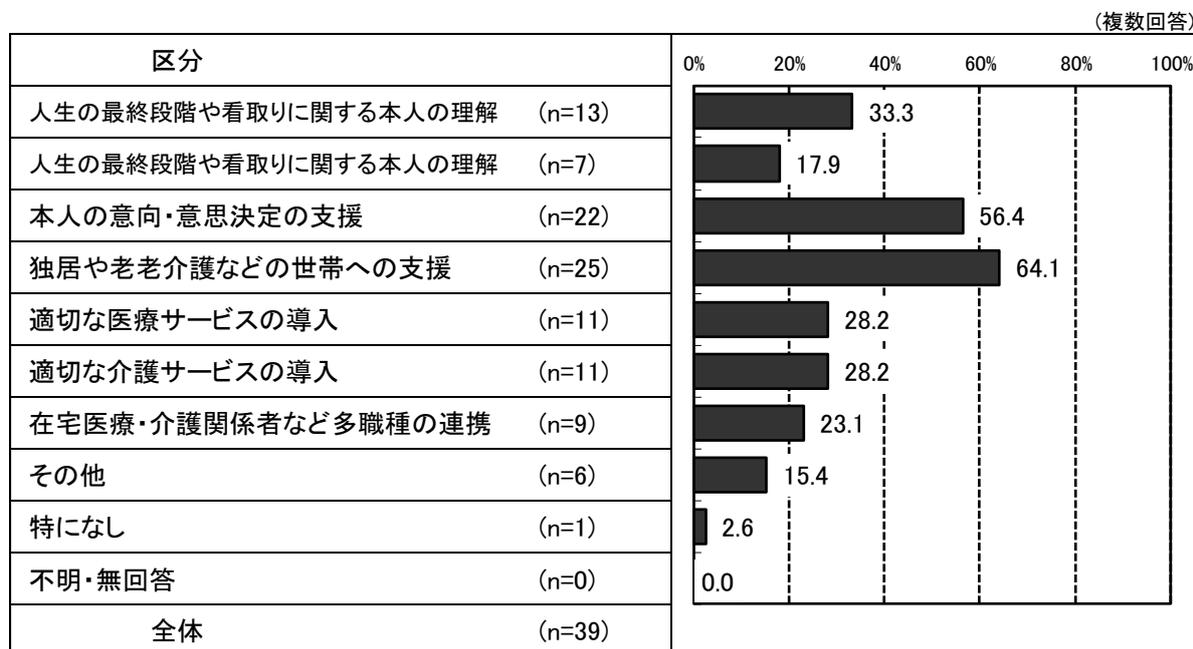


- 1年間(令和4年1月～12月)に事業所で対応した看取りの件数については、「1人」と「10人」がともに13.2%で最も多く、「5人」(10.5%)、「2人」と「3人」と「4人」が、ともに7.9%ずつついでいます。平均は11.8人となっています。



問 12 「看取り」について現状の課題や困難に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「看取り」について感じている現状の課題や困難については、「独居や老々介護などの世帯への支援」が 64.1%で最も多く、「本人の意向・意思決定の支援」(56.4%)、「人生の最終段階や看取りに関する本人の理解」(33.3%) がつづいています。



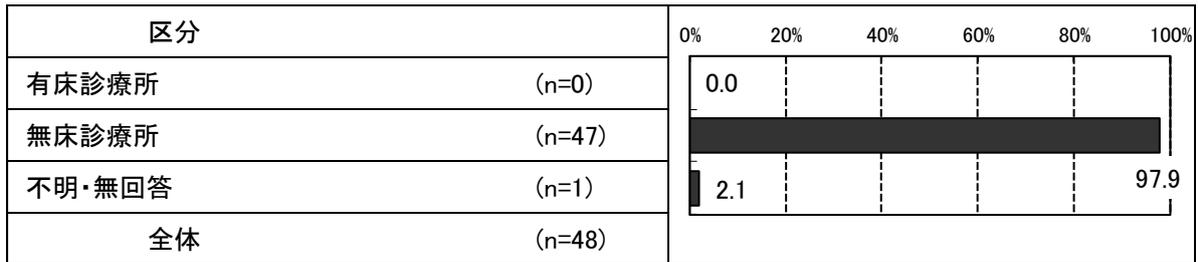
在宅療養支援診療所アンケート調査の結果

1. 診療所の状況

問1 貴施設の状況について、以下の①～④についてお答えください。

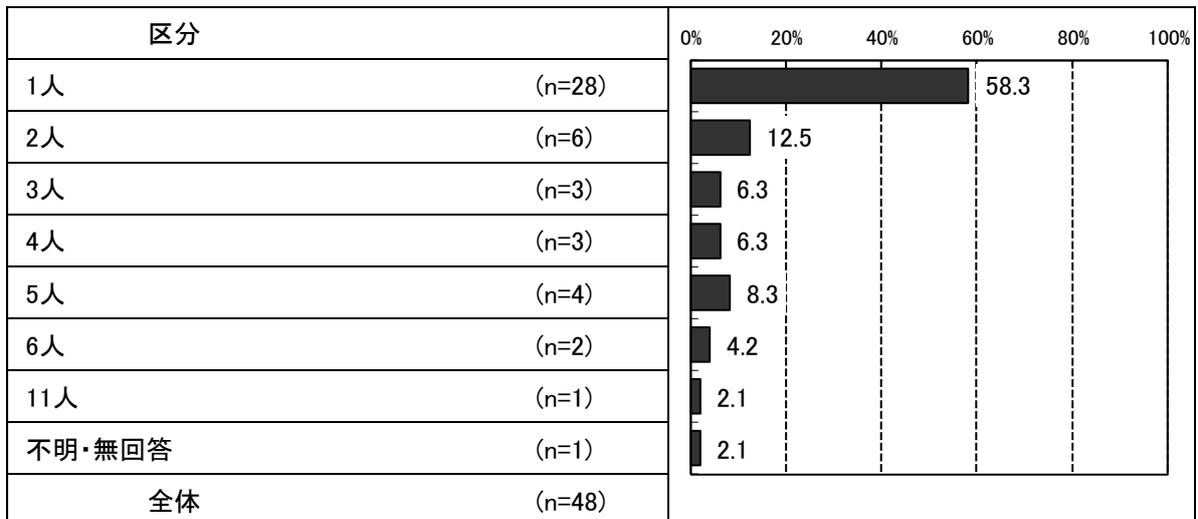
①診療所の区分（1つに○）

■ 診療所の区分については、「無床診療所」が97.9%、「有床診療所」が0.0%となっています。



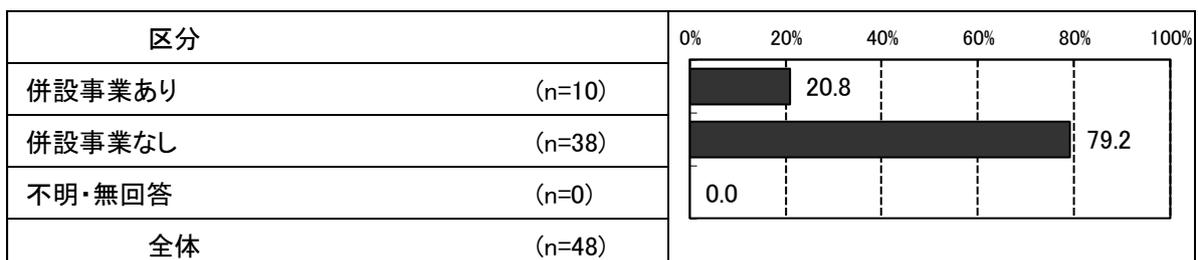
②医師数（実人員）

■ 医師数（実人数）については、「1人」が58.3%で最も多く、「2人」（12.5%）、「5人」（8.3%）がつづいています。平均は2.2人となっています。



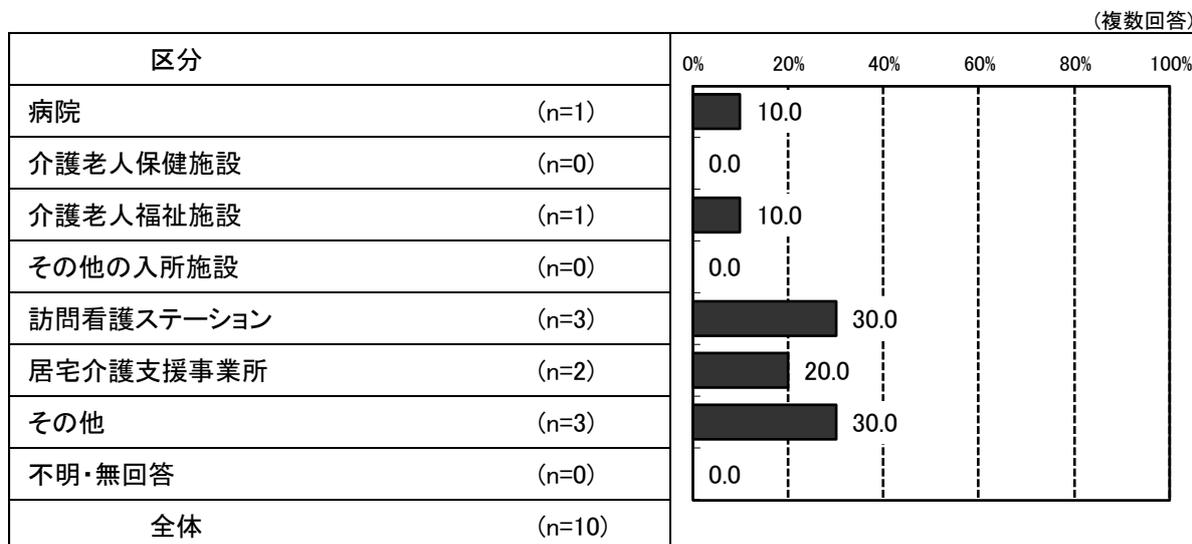
③同一法人の併設事業（1つに○）

■ 同一法人の併設事業については、「併設事業なし」が79.2%、「併設事業あり」が20.8%となっています。



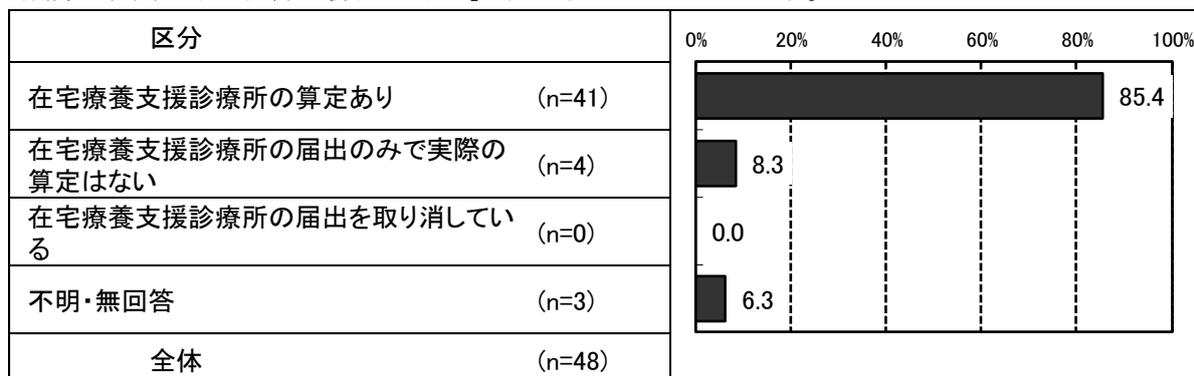
併設している事業

- 併設している事業としては、「訪問看護ステーション」と「その他」が、ともに 30.0%で最も多く、「居宅介護支援事業所」(20.0%)、「病院」と「介護老人福祉施設」が、ともに 10.0%でつづいています。



④在宅療養支援診療所としての稼働状況（1つに〇）

- 稼働状況については、「在宅療養支援診療所の算定あり」が 85.4%で最も多く、「在宅療養支援診療所の届出のみで実際の算定はない」(8.3%)がつづいています。



問2 **令和5年2月中**に訪問診療を行った患者について、患者宅（施設含む）までの所要時間（交通手段を問わない実移動時間）の区分毎に**実人数**を記入してください。

- 患者宅までの片道の所要時間別で患者数をみると、回答診療所（48 診療所）の全患者 4,069 人のうち、「15分未満」が 1,759 人で 43.2%を占め最も多くなっています。前回調査では「1時間以上」は 400 人（15.2%）でしたが、本調査では 36 人（0.9%）となっています。

片道の所要時間		15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上	合計
患者数	実人数(人)	1,759	1,630	644	36	4,069
	構成比(%)	43.2	40.1	15.8	0.9	100.0

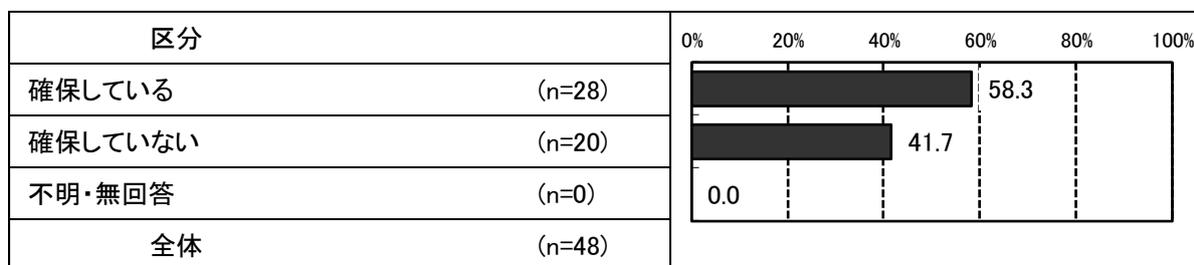
問3 **令和5年2月中**に訪問診療を行った患者について、その訪問先毎に**延べ人数**を記入してください。

- 訪問先ごとの延べ患者数をみると、回答診療所（48 診療所）の延べ患者数合計 5,950 人のうち、「自宅」が 1,805 人で 30.3%を占め最も多く、「有料老人ホーム」（1,647 人、27.7%）、「サービス付き高齢者住宅」（1,235 人、20.8%）がつついています。

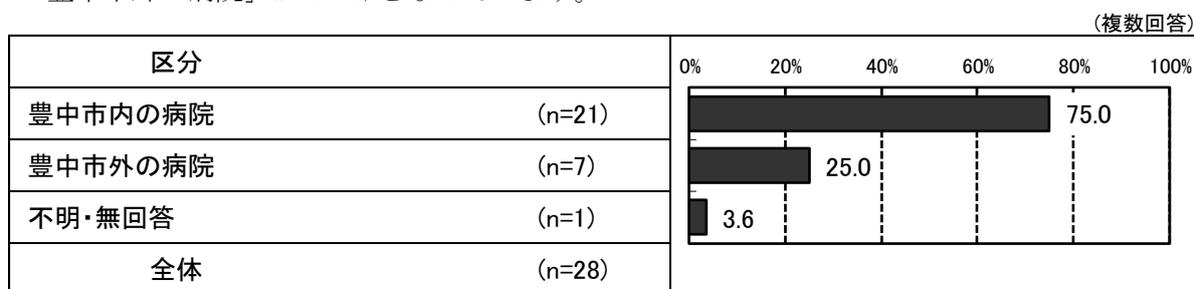
訪問先		自宅	サービス付き 高齢者住宅	グループ ホーム	有料老人 ホーム	特別養護 老人ホーム	その他	合計
患者数	延べ数(人)	1,805	1,235	331	1,647	618	314	5,950
	構成比(%)	30.3	20.8	5.6	27.7	10.4	5.3	100.0

問4 訪問診療を実施している患者の病状が急変した場合、受け入れ先は確保していますか。（1つに○）

- 受け入れ先を確保しているかについては、「確保している」が 58.3%、「確保していない」が 41.7%となっています。



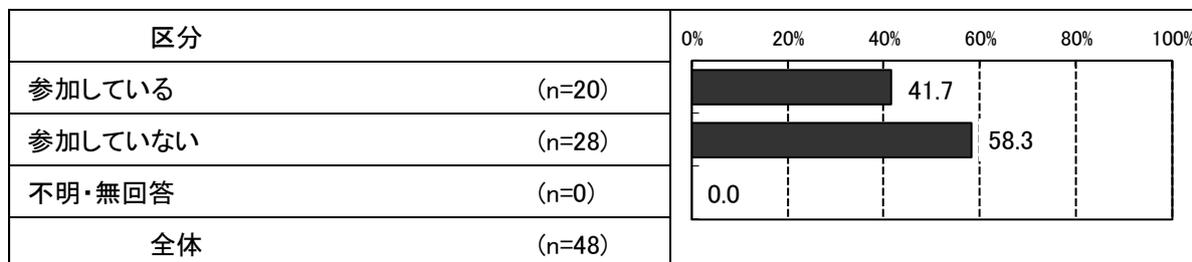
- 受け入れ先を確保している診療所について、受け入れ先をみると、「豊中市内の病院」が 75.0%、「豊中市外の病院」が 25.0%となっています。



2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況

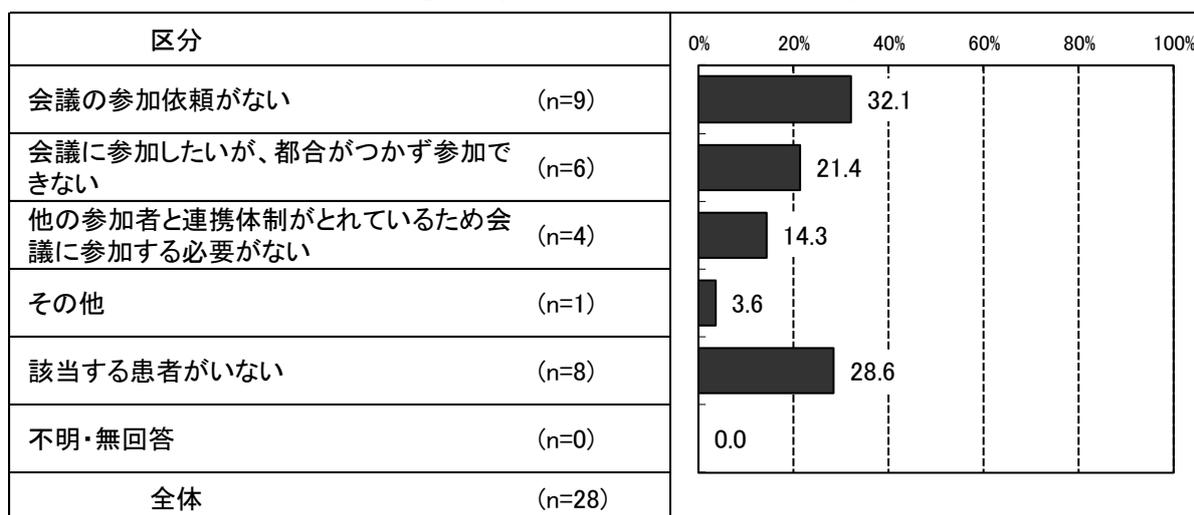
問5 病院からの退院患者(受け持ち患者)について、退院時カンファレンスに参加していますか。
(1つに○)

- 退院時カンファレンスに参加しているかについては、「参加していない」が58.3%、「参加している」が41.7%となっています。



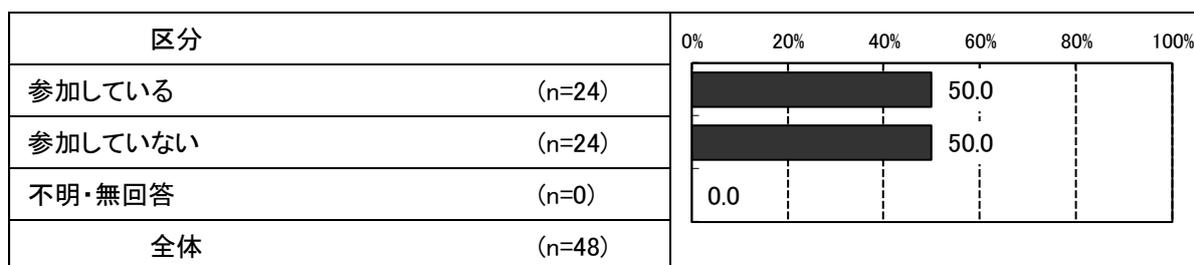
参加していない理由

- 「会議の参加依頼がない」が32.1%で最も多く、「該当する患者がいない」(28.6%)、「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」(21.4%)がみつづいています。



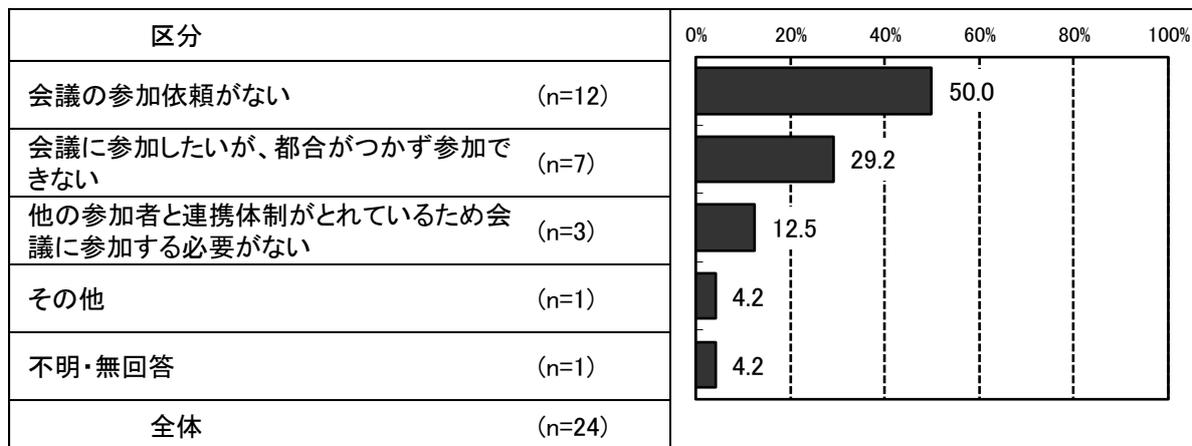
問6 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加していますか。(1つに○)

- 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加しているかについては、「参加している」と「参加していない」が、ともに50.0%となっています。



参加していない理由

- 「会議の参加依頼がない」が50.0%で最も多く、「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」(29.2%)、「他の参加者と連携体制がとれているため会議に参加する必要がない」(12.5%)がつづいています。



3. 他機関との連携状況

問7 貴施設と他機関との連携状況についておうかがいします。以下の①～⑭の各機関との連携状況について、あてはまるものそれぞれに○をつけてください。(○は1つずつ)

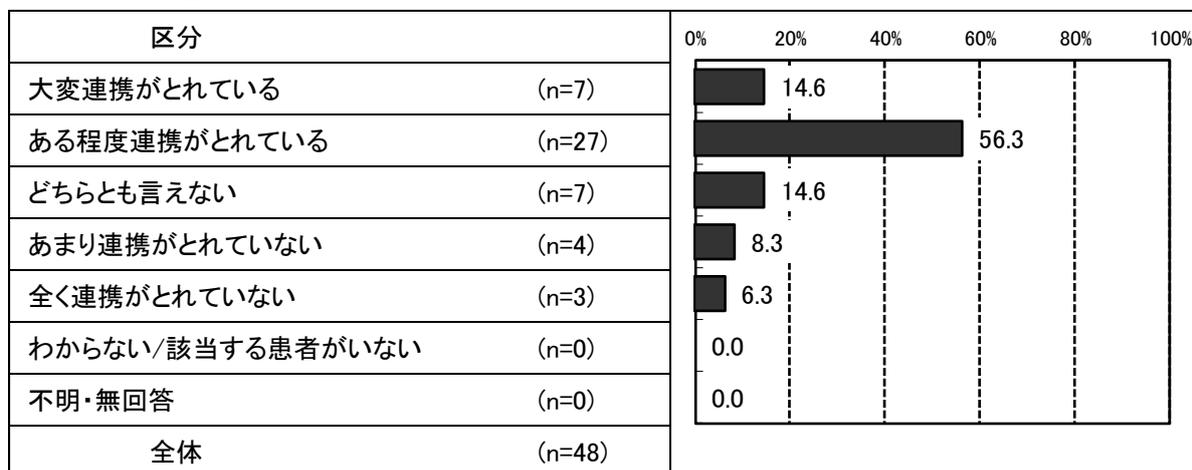
- 他機関との連携状況をみると、「連携できている」は「⑥調剤薬局」が60.4%で最も多く、「⑦訪問看護ステーション」(54.2%)、「⑨居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)」(45.8%)がつづきます。また、「やや連携できている」を加えると、「⑥調剤薬局」が85.4%で最も多く、「⑦訪問看護ステーション」(79.2%)、「①病院」(68.7%)がつづきます。
- 一方、「連携できていない」は「⑤歯科診療所」が16.7%で最も多く、「⑫豊中市在宅医療・介護連携支援センター」(12.5%)、「④在宅療養支援歯科診療所」(10.4%)がつづきます。また、「あまり連携できていない」を加えると、「⑫豊中市在宅医療・介護連携支援センター」が25.0%で最も多く、「⑩訪問介護事業所」(20.9%)、「②他の在宅療養支援診療所」(20.8%)がつづきます。
- なお、「関わりがない」は「⑤歯科診療所」が37.5%で最も多く、「②他の在宅療養支援診療所」と「④在宅療養支援歯科診療所」(ともに33.3%)、「③診療所(在宅療養支援診療所を除く)」(22.9%)がつづいています。

全体=48		連携 でき ている	やや 連携 でき ている	ど ち ら と も 言 え ない	あ ま り 連 携 で き て い ない	連 携 で き て い ない	関 わ り が な い	不 明 ・ 無 回 答
①病院	n	17	16	9	4	2	0	0
	%	35.4	33.3	18.8	8.3	4.2	0.0	0.0
②他の在宅療養支援診療所	n	7	6	9	6	4	16	0
	%	14.6	12.5	18.8	12.5	8.3	33.3	0.0
③診療所 (在宅療養支援診療所を除く)	n	8	11	10	3	3	11	2
	%	16.7	22.9	20.8	6.3	6.3	22.9	4.2
④在宅療養支援歯科診療所	n	8	7	9	3	5	16	0
	%	16.7	14.6	18.8	6.3	10.4	33.3	0.0
⑤歯科診療所(在宅療養支援 歯科診療所を除く)	n	6	7	8	1	8	18	0
	%	12.5	14.6	16.7	2.1	16.7	37.5	0.0
⑥調剤薬局	n	29	12	4	2	1	0	0
	%	60.4	25.0	8.3	4.2	2.1	0.0	0.0
⑦訪問看護ステーション	n	26	12	3	1	3	2	1
	%	54.2	25.0	6.3	2.1	6.3	4.2	2.1
⑧地域包括支援センター	n	18	11	8	4	3	4	0
	%	37.5	22.9	16.7	8.3	6.3	8.3	0.0
⑨居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	n	22	10	10	2	2	2	0
	%	45.8	20.8	20.8	4.2	4.2	4.2	0.0
⑩訪問介護事業所	n	12	14	9	7	3	3	0
	%	25.0	29.2	18.8	14.6	6.3	6.3	0.0
⑪リハビリテーション 施設・事業所	n	7	14	16	4	2	5	0
	%	14.6	29.2	33.3	8.3	4.2	10.4	0.0
⑫豊中市在宅医療・介護連携 支援センター	n	10	6	10	6	6	10	0
	%	20.8	12.5	20.8	12.5	12.5	20.8	0.0
⑬豊中市保健所	n	13	11	18	2	3	1	0
	%	27.1	22.9	37.5	4.2	6.3	2.1	0.0
⑭豊中市役所 (保健所を除く)	n	10	11	16	4	4	3	0
	%	20.8	22.9	33.3	8.3	8.3	6.3	0.0

問8 豊中市において、以下の各場面で医療と介護の連携がとれていると思いますか。(①～④でそれぞれ○は1つ)

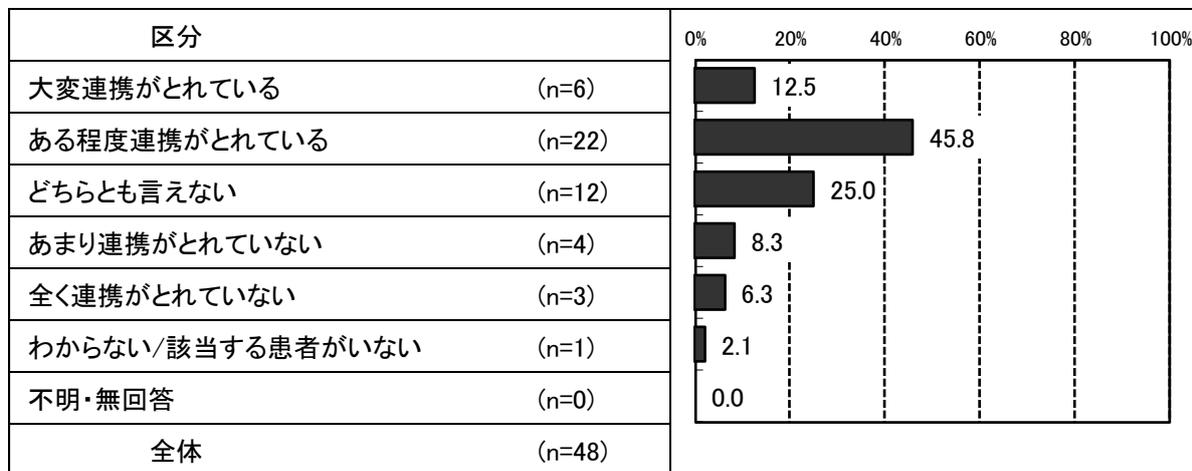
①日常療養

■ 日常療養の連携については、「ある程度連携がとれている」が56.3%で最も多く、「大変連携がとれている」と「どちらとも言えない」が、ともに14.6%、「あまり連携がとれていない」(8.3%)がつづいています。



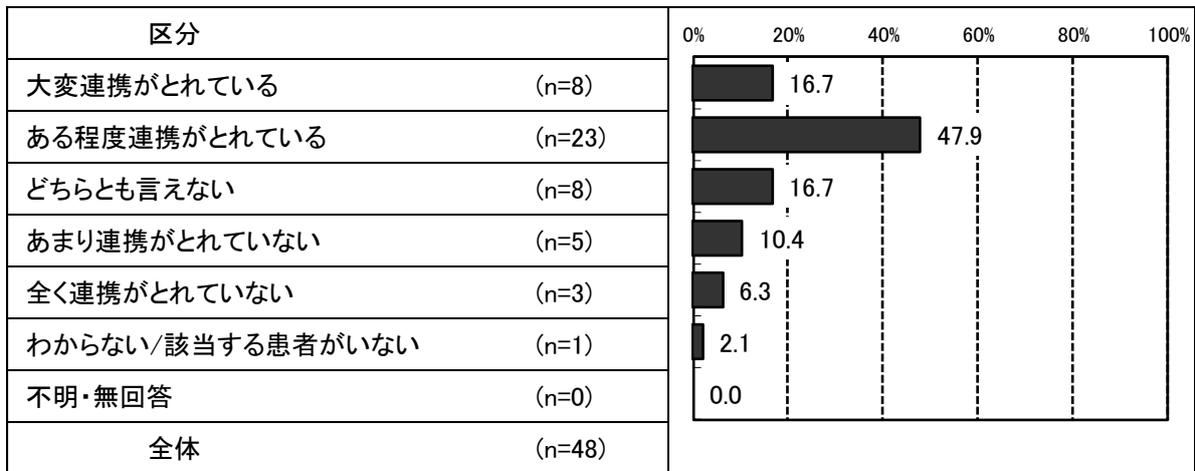
②入退院時

■ 入退院時の連携については、「ある程度連携がとれている」が45.8%で最も多く、「どちらとも言えない」(25.0%)、「大変連携がとれている」(12.5%)がつづいています。



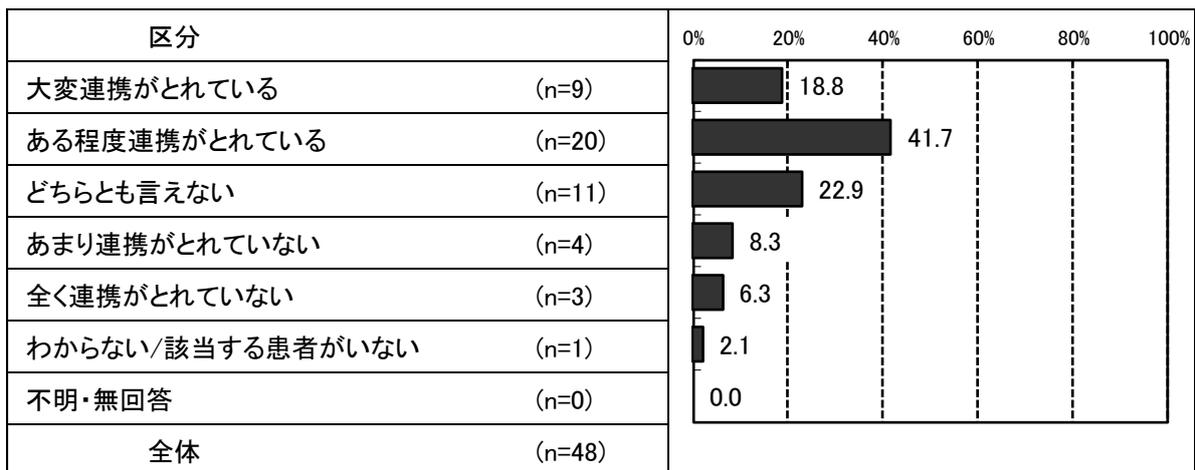
③急変時

■ 急変時の連携については、「ある程度連携がとれている」が47.9%で最も多く、「大変連携がとれている」と「どちらとも言えない」が、ともに16.7%、「あまり連携がとれていない」(10.4%)がつづいています。



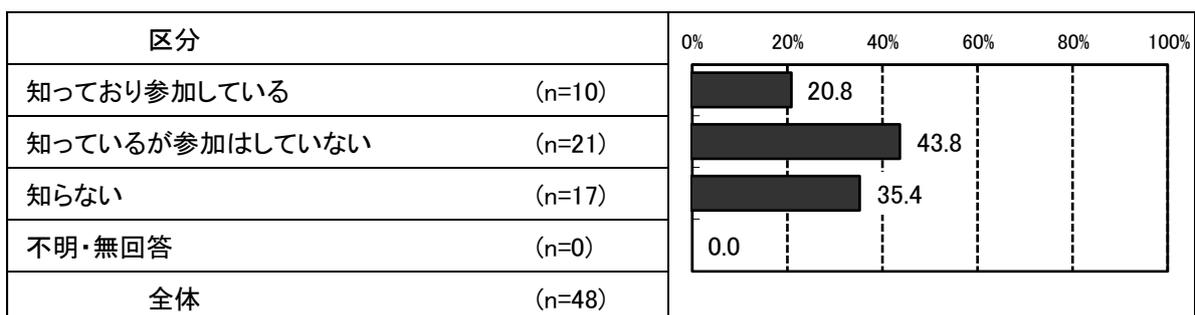
④看取り

■ 看取りの連携については、「ある程度連携がとれている」が41.7%で最も多く、「どちらとも言えない」(22.9%)、「大変連携がとれている」(18.8%)がつづいています。



問9 豊中市では在宅医療・介護連携支援センター運営事業を通じて、医療・介護関係者を対象に、在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会など開催していますがご存じですか。(○は1つ)

■ 在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会については、「知っているが参加はしていない」が43.8%で最も多く、「知らない」(35.4%)、「知っており参加している」(20.8%)がつづいています。



問 10 在宅医療・介護連携支援センター運営事業で企画してほしいことなどがあればご自由にご記載下さい。

介護職や、関係職種の皆様と顔の見える関係づくりをしていきたいと考えておりますので、ご支援いただけますと幸いです。（在宅医として情報提供できることや直接介護職の皆様へ情報をお伝えする機会があれば、可能な限りで協力できればと思います。

在宅医療と行う意思はあるが紹介されないためできない。ケアマネなどつながるような会を企画して欲しい。

準緊急入院症例の調整（保健所サブアキュートシステムも有りますが実際は機能しているとは言えません）。

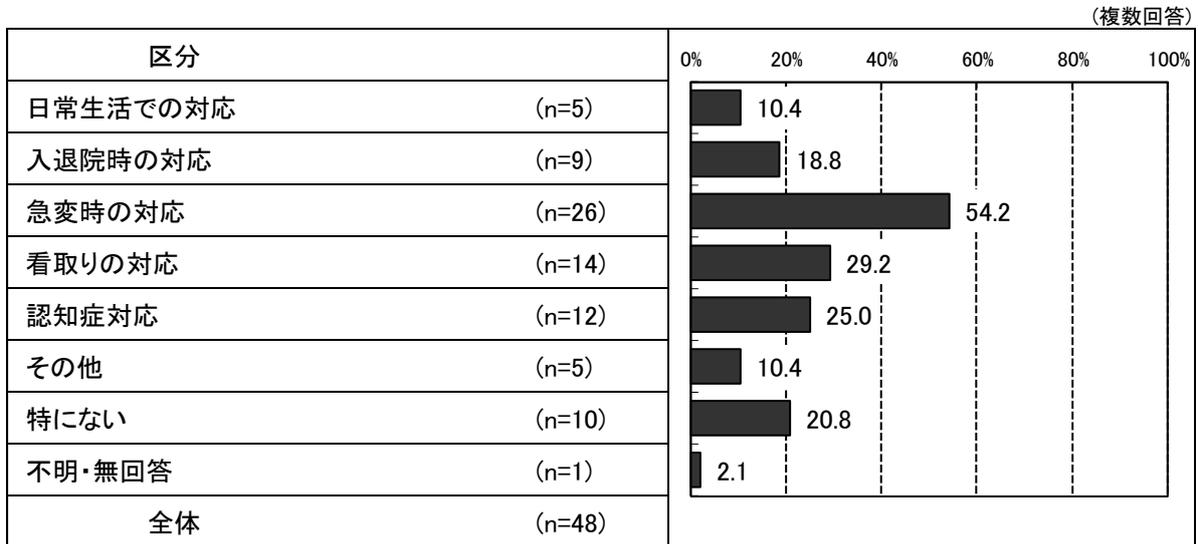
栄養士のグループをつくりたい。BCP 連携について。

地域の在宅医療や介ゴに従事する者同志の集う会、勉強会など、近隣の在宅支援診療所との顔合わせの場。

4. 在宅医療で困難に感じること

問 11 在宅医療を実施している中で、貴施設で困難に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

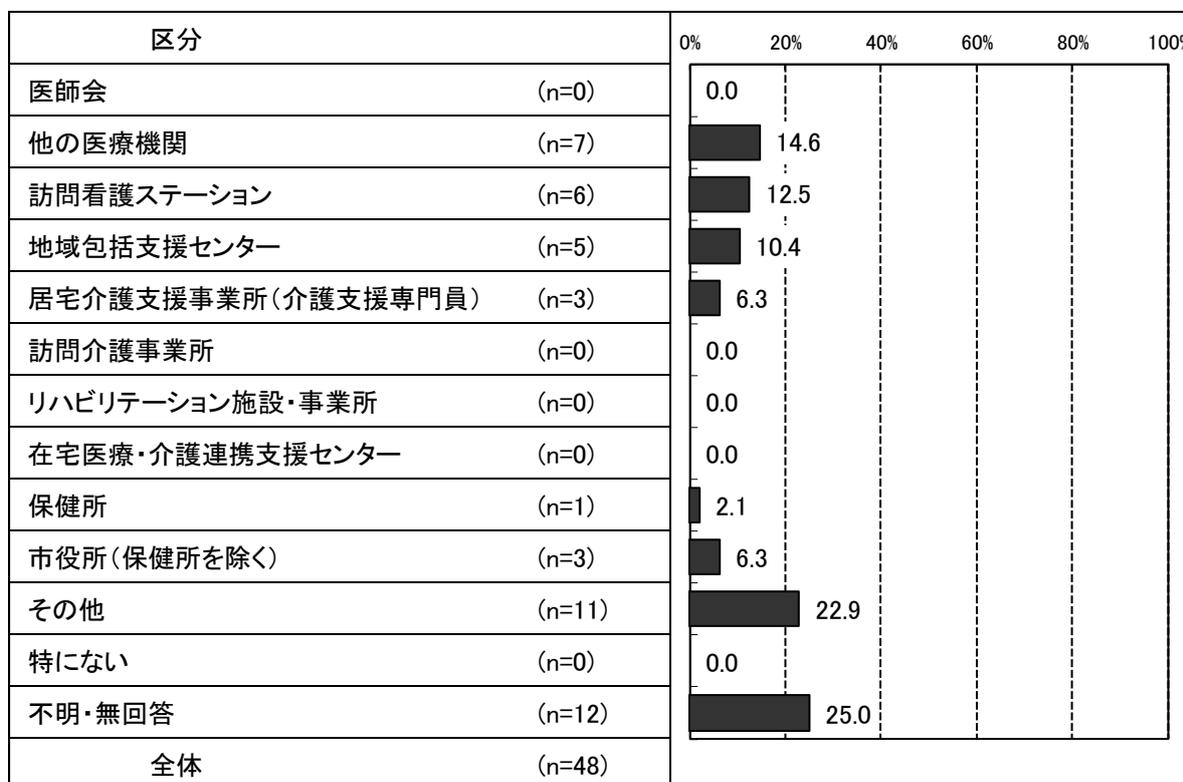
- 困難に感じることについては、「急変時の対応」が54.2%で最も多く、「看取りの対応」(29.2%)、「認知症対応」(25.0%)がつづいています。



5. 在宅医療に関する主な相談先

問 12 在宅医療を実施している中で、貴施設において困難な事案に遭遇した場合、主にどこに相談を行っていますか。(主なところ1つに○)

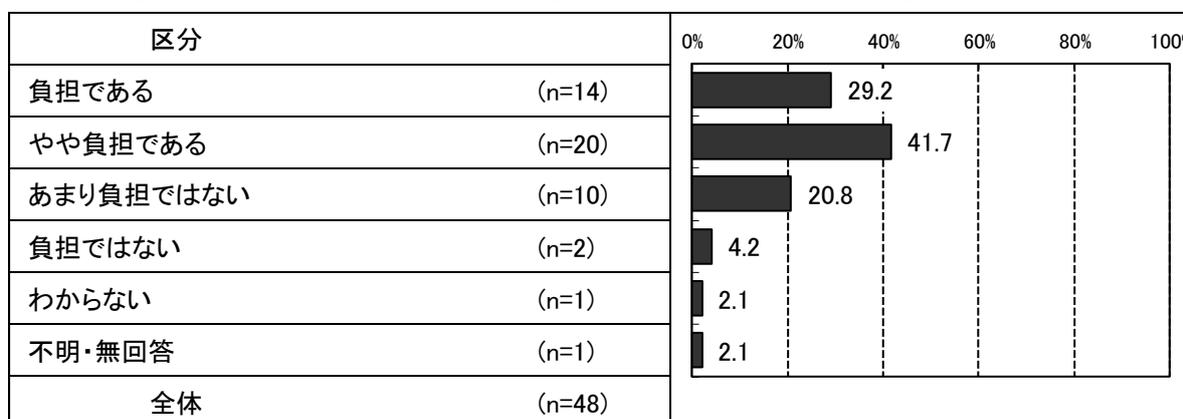
- 主にどこに相談に行っているかについては、「その他」が 22.9%で最も多く、「他の医療機関」(14.6%)、「訪問看護ステーション」(12.5%)がつづいています。



6. 24 時間体制に対する負担感

問 13 医療の提供にあたり、24 時間体制に対して負担感を感じますか。(1つに○)

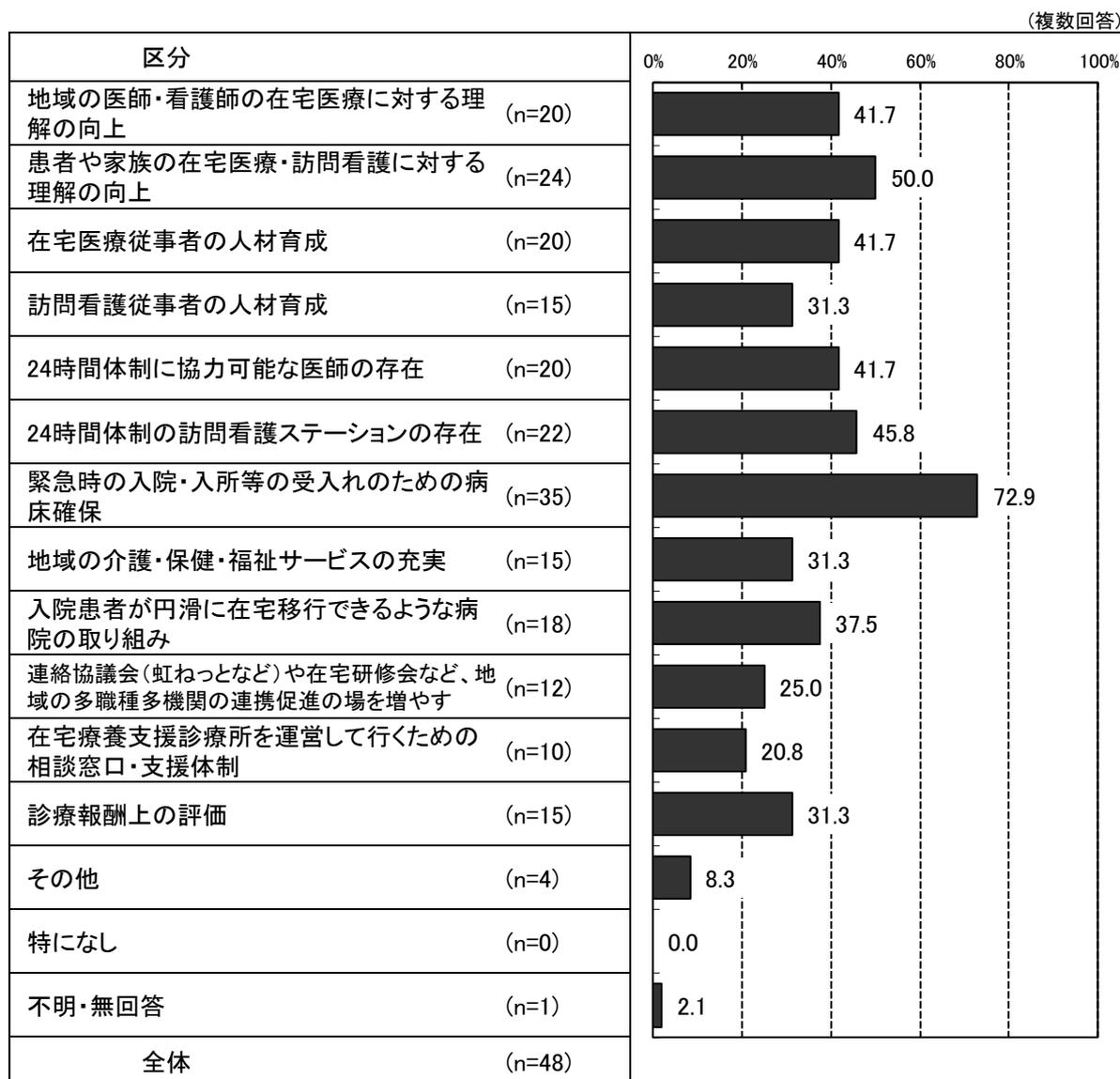
- 24 時間体制に対して負担感を感じるかについては、「やや負担である」が 41.7%で最も多く、「負担である」(29.2%)、「あまり負担ではない」(20.8%)がつづいています。



7. 在宅医療の充実のために必要なこと

問 14 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

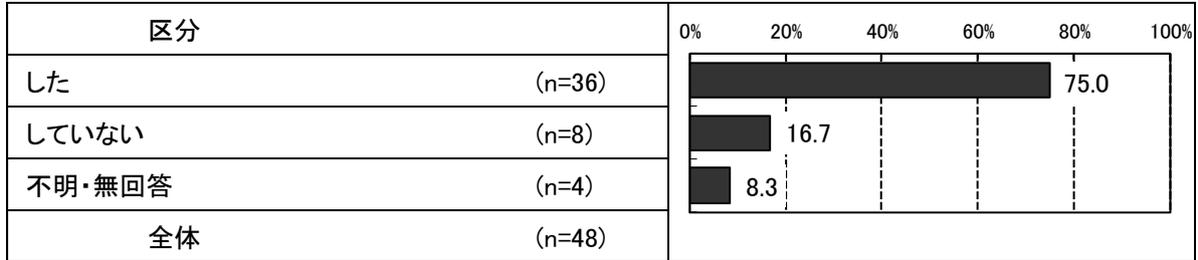
- 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことは何かについては、「緊急時の入院・入所等の受入れのための病床確保」が72.9%で最も多く、「患者や家族の在宅医療・訪問看護に対する理解の向上」(50.0%)、「24時間体制の訪問看護ステーションの存在」(45.8%)がつづいています。



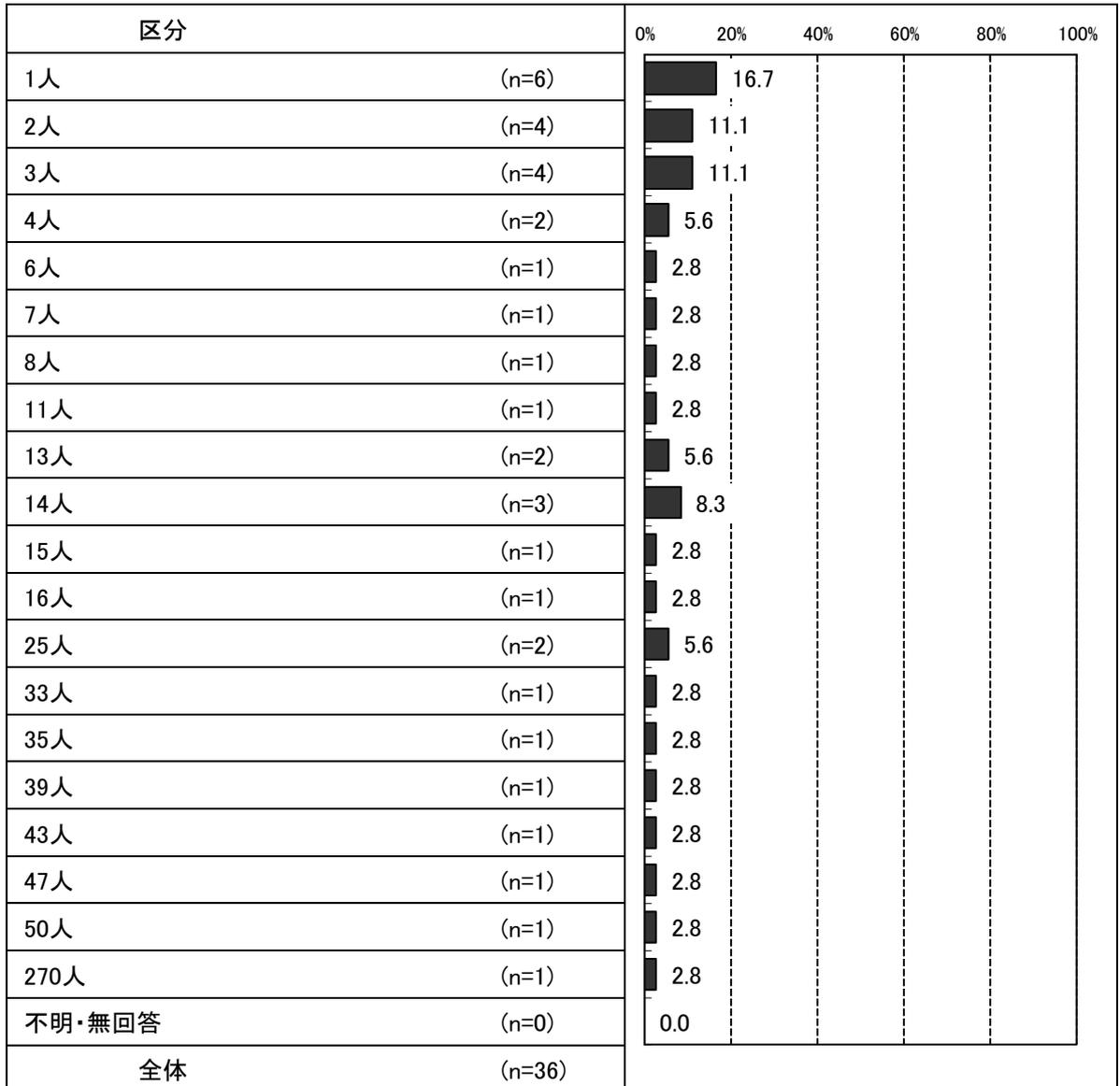
8. 「看取り」の現状と課題について

問15 令和4年1月～12月の1年間で、貴施設で看取りの支援・対応をされましたか。(1つに○)

- 1年間(令和4年1月～12月)に事業所で看取りの支援・対応をしたかについては、「した」が75.0%、「していない」が16.7%となっています。

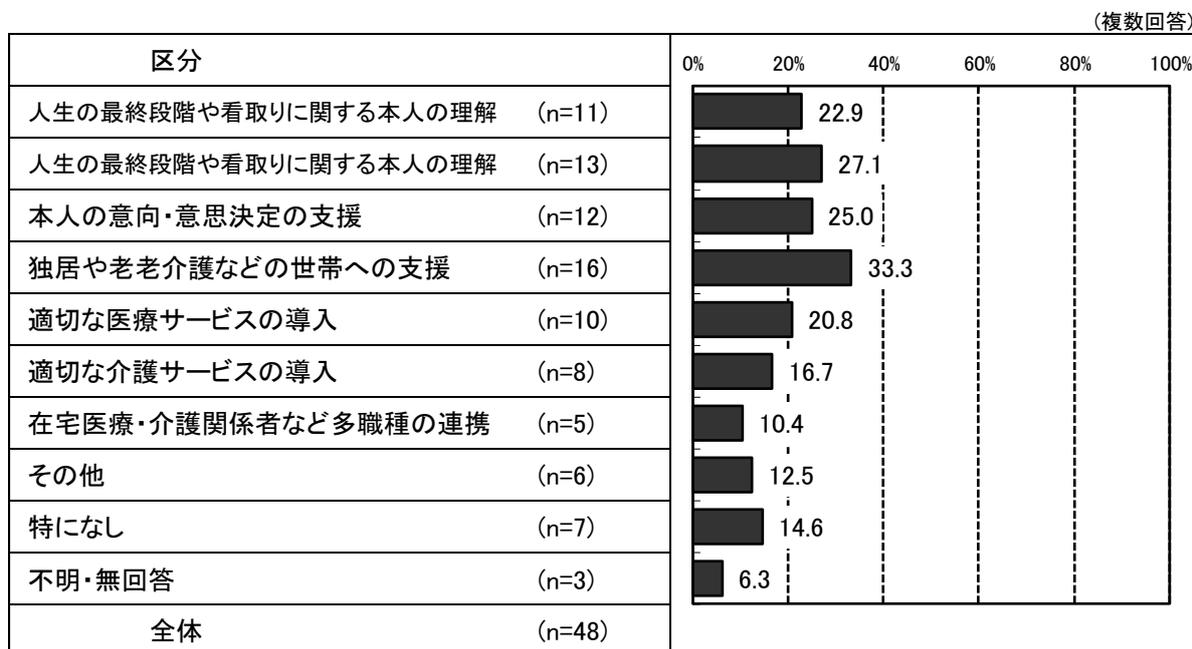


- 1年間(令和4年1月～12月)に施設で対応した看取りの件数については、「1人」が16.7%で最も多く、「2人」と「3人」が、ともに11.1%、「14人」(8.3%)がつづいています。平均は20.3人となっています。



問 16 「看取り」について現状の課題や困難に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「看取り」について感じている現状の課題や困難については、「独居や老老介護などの世帯への支援」が 33.3%で最も多く、「人生の最終段階や看取りに関する本人の理解」(27.1%)、「本人の意向・意思決定の支援」(25.0%)がつついています。



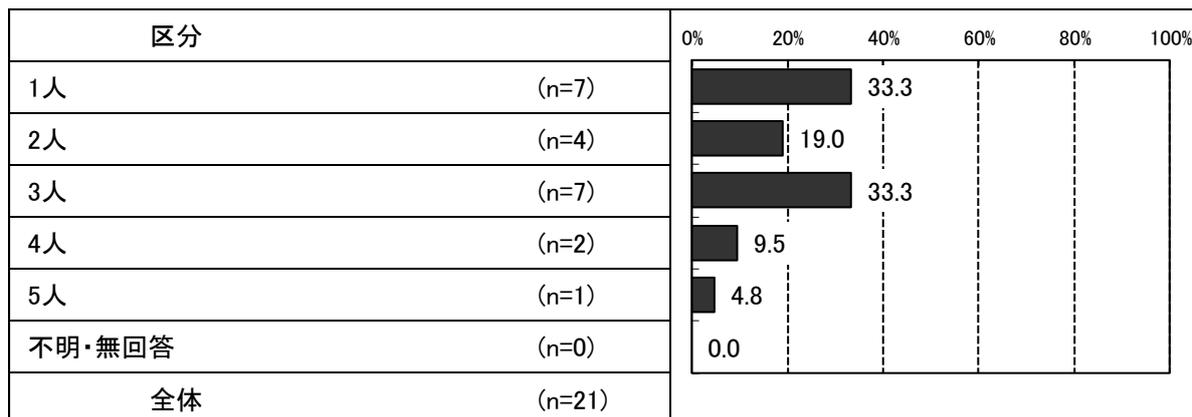
在宅療養支援歯科診療所アンケート調査の結果

1. 診療所の状況

問1 貴施設の人員体制について、お答えください。

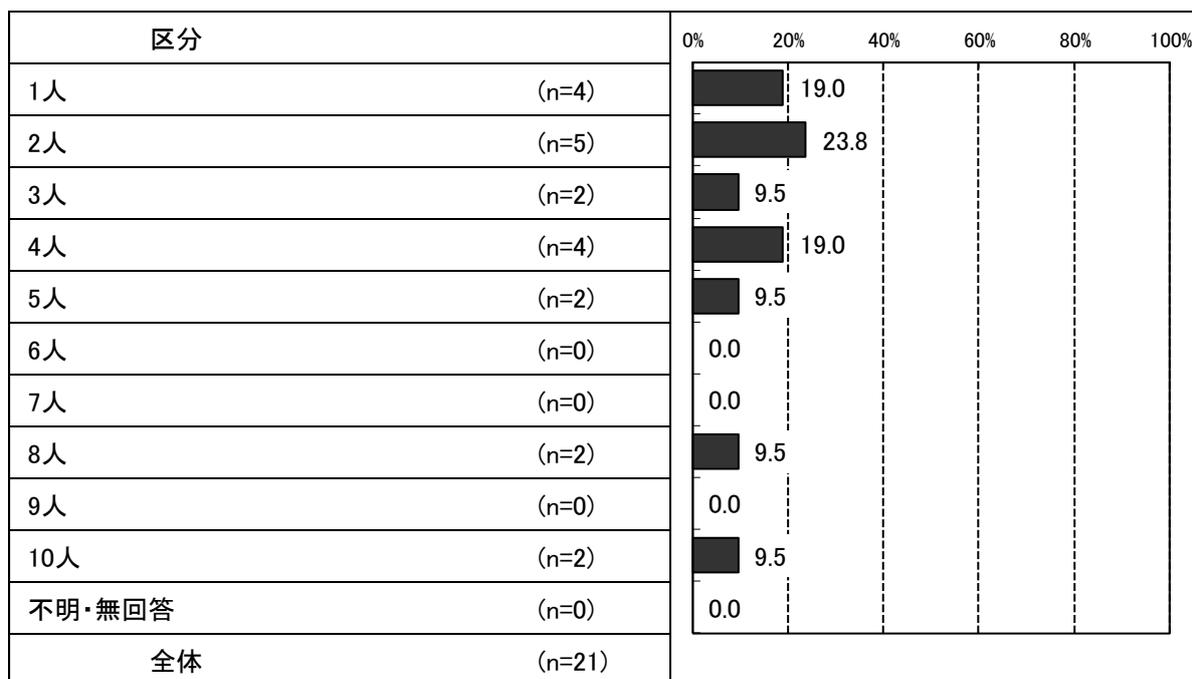
① 歯科医師数（実人数）

■ 歯科医師数（実人数）については、「1人」と「3人」が、ともに33.3%で最も多く、「2人」（19.0%）、「4人」（9.5%）がつづいています。平均は2.3人となっています。



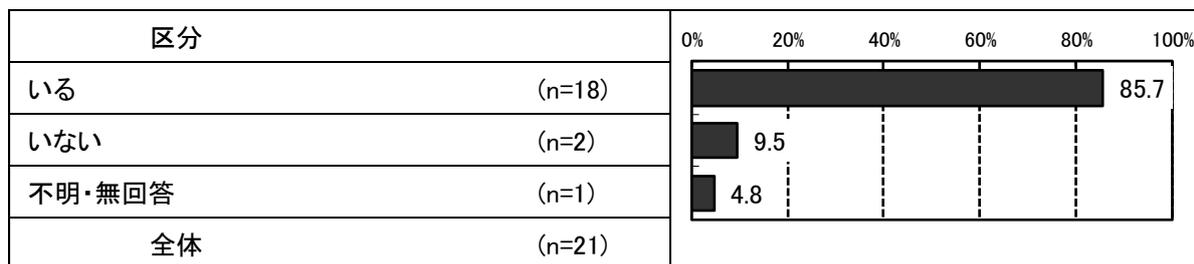
② 歯科衛生士（実人員）

■ 歯科衛生士（実人員）については、「2人」が23.8%で最も多く、「1人」と「4人」が、ともに19.0%、「3人」と「5人」と「8人」と「10人」が、ともに9.5%がつづいています。平均は3.9人となっています。



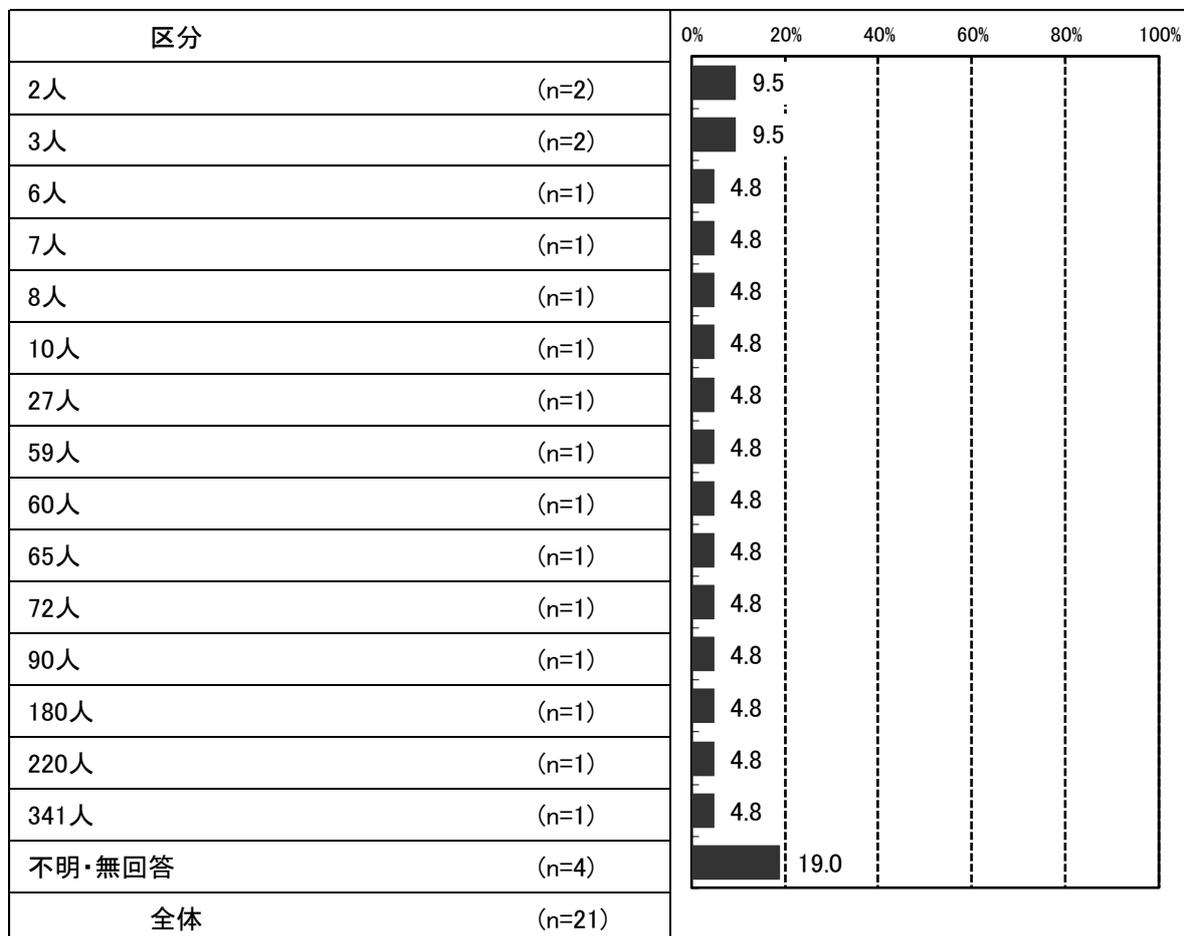
問2 **令和5年1月～3月中**に訪問診療を行った患者がいますか。なお、「1. いる」を選択した場合は、訪問診療を行った患者数（実数）を記入してください。

■ 令和5年1月～3月中に訪問診療を行った患者の有無については、「いる」が85.7%、「いない」が9.5%となっています。



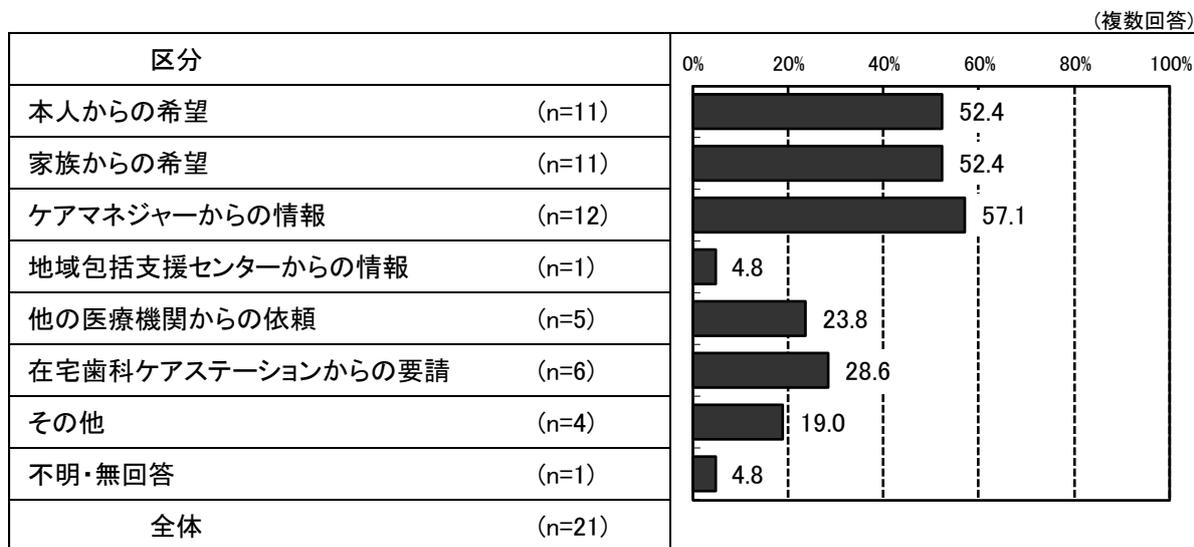
訪問診療を行った患者数（実数）

■ 訪問診療を行った患者数（実数）については、「2人」と「3人」が、ともに9.5%で最も多くなっています。平均は67.9人となっています。



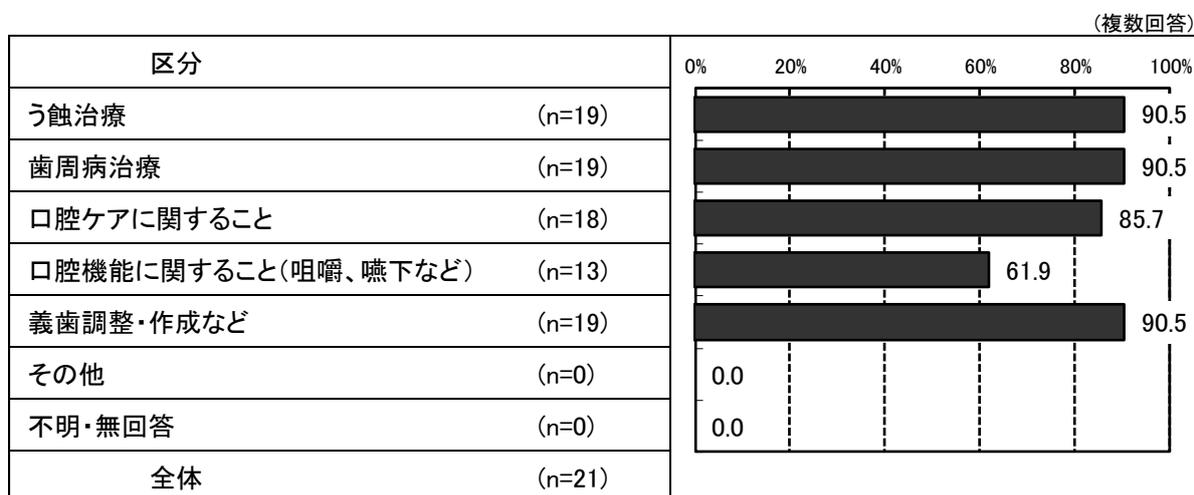
問3 訪問をするに至ったきっかけについて、あてはまるもの全て選んでください。

- 訪問歯科診療を行うきっかけについては、「ケアマネジャーからの情報」が 57.1%で最も多く、「本人からの希望」と「家族からの希望」が、ともに 52.4%、「在宅歯科ケアステーションからの要請」(28.6%)がつづいています。



問4 訪問診療において実際に行っている治療やケアについて、あてはまるもの全て選んでください。

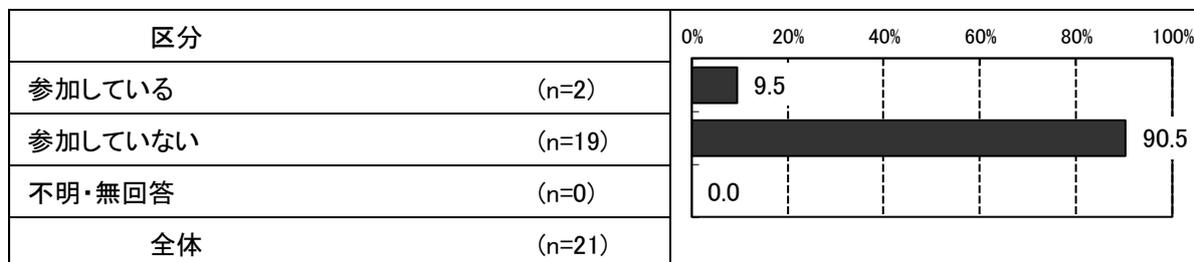
- 訪問診療において実際に行っている治療やケアについては、「う蝕治療」と「歯周病治療」と「義歯調整・作成など」が、ともに 90.5%で最も多く、「口腔ケアに関すること」(85.7%)、「口腔機能に関すること(咀嚼、嚥下など)」(61.9%)がつづいています。



2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況

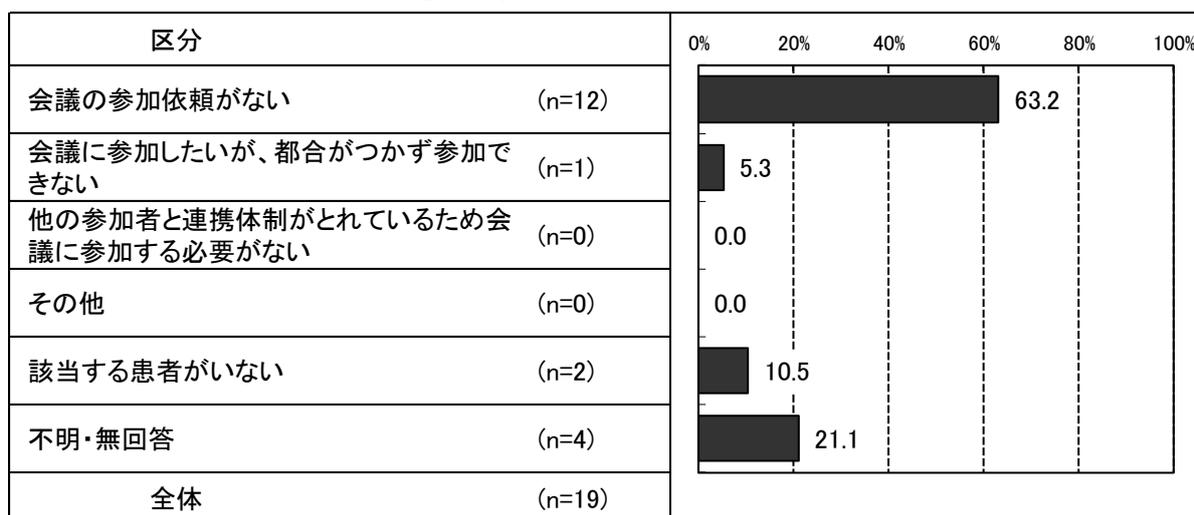
問5 病院からの退院患者(受け持ち患者)について、退院時カンファレンスに参加していますか。
(○は1つ)

- 退院時カンファレンスに参加しているかについては、「参加していない」が90.5%、「参加している」が9.5%となっています。



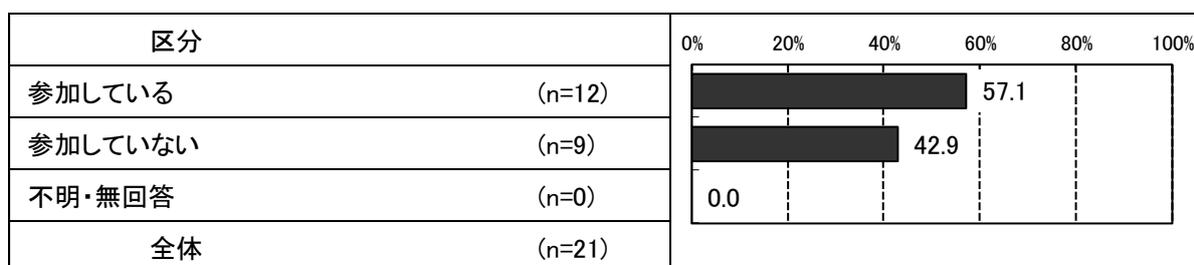
参加していない理由

- 「会議の参加依頼がない」が63.2%で最も多く、「該当する患者がない」(10.5%)、「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」(5.3%)がつづいています。



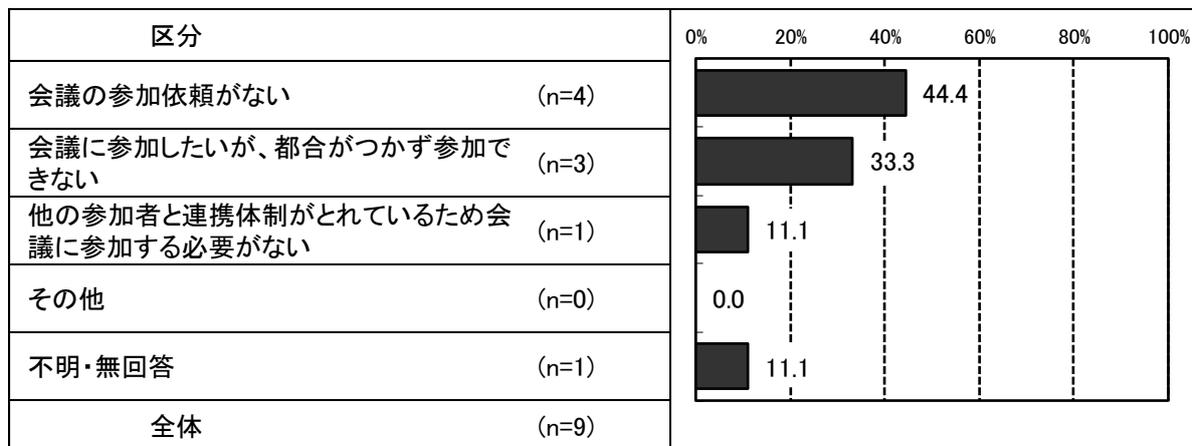
問6 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加していますか。(○は1つ)

- 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加しているかについては、「参加している」が57.1%、「参加していない」が42.9%となっています。



参加していない理由

- 「会議の参加依頼がない」が44.4%で最も多く、「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」(33.3%)、「他の参加者と連携体制がとれているため会議に参加する必要がない」(11.1%)がつづいています。



3. 他機関との連携状況

問7 貴施設と他機関との連携状況についておうかがいします。以下の①～⑭の各機関との連携状況について、あてはまるものそれぞれに○をつけてください。(○は1つずつ)

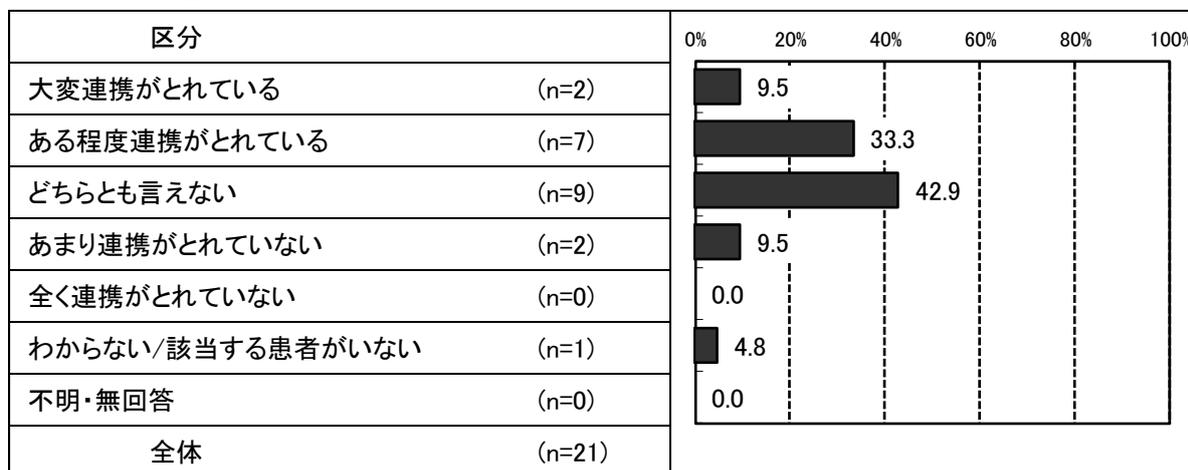
- 他機関との連携状況をみると、「連携できている」は「①病院」と「⑨居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」がともに33.3%で最も多く、「②在宅療養支援診療所」と「⑩訪問介護事業所」と「⑬豊中市保健所」（ともに19.0%）、「⑤歯科診療所（在宅療養支援歯科診療所を除く）」と「⑭豊中市役所（保健所を除く）」（ともに14.3%）がつづいています。また、「やや連携できている」を加えると、「①病院」が85.7%で最も多く、「⑨居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」（57.1%）、「②在宅療養支援診療所」と「③診療所（在宅療養支援診療所を除く）」と「⑩訪問介護事業所」（ともに47.6%）がつづいています。
- 一方、「連携できていない」は「⑦訪問看護ステーション」と「⑩訪問介護事業所」と「⑪リハビリテーション施設・事業所」と「⑫豊中市在宅医療・介護連携支援センター」と「⑬豊中市保健所」がともに14.3%で最も多く、「②在宅療養支援診療所」と「④他の在宅療養支援歯科診療所」と「⑤歯科診療所（在宅療養支援歯科診療所を除く）」と「⑥調剤薬局」と「⑭豊中市役所（保健所を除く）」（ともに9.5%）がつづいています。また、「あまり連携できていない」を加えると、「⑫豊中市在宅医療・介護連携支援センター」が28.6%で最も多く、「④他の在宅療養支援歯科診療所」（28.5%）がつづいています。
- なお、「関わりがない」は「④他の在宅療養支援歯科診療所」と「⑤歯科診療所（在宅療養支援歯科診療所を除く）」がともに28.6%で最も多く、「⑪リハビリテーション施設・事業所」（23.8%）がつづいています。

全体=21		連携 できている	やや連携 できている	どちらと も言え ない	あまり連 携でき ていない	連携でき ていない	関わりが ない	不明・ 無回答
①病院	n %	7 33.3	11 52.4	1 4.8	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0
②在宅療養支援診療所	n %	4 19.0	6 28.6	3 14.3	3 14.3	2 9.5	3 14.3	0 0.0
③診療所 （在宅療養支援診療所を除く）	n %	2 9.5	8 38.1	5 23.8	4 19.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0
④他の在宅療養支援歯科診療所	n %	2 9.5	2 9.5	5 23.8	4 19.0	2 9.5	6 28.6	0 0.0
⑤歯科診療所（在宅療養支援 歯科診療所を除く）	n %	3 14.3	2 9.5	4 19.0	3 14.3	2 9.5	6 28.6	1 4.8
⑥調剤薬局	n %	0 0.0	8 38.1	5 23.8	3 14.3	2 9.5	3 14.3	0 0.0
⑦訪問看護ステーション	n %	3 14.3	4 19.0	6 28.6	1 4.8	3 14.3	4 19.0	0 0.0
⑧地域包括支援センター	n %	2 9.5	6 28.6	10 47.6	1 4.8	1 4.8	1 4.8	0 0.0
⑨居宅介護支援事業所 （ケアマネジャー）	n %	7 33.3	5 23.8	5 23.8	2 9.5	1 4.8	1 4.8	0 0.0
⑩訪問介護事業所	n %	4 19.0	6 28.6	5 23.8	2 9.5	3 14.3	1 4.8	0 0.0
⑪リハビリテーション 施設・事業所	n %	2 9.5	3 14.3	6 28.6	2 9.5	3 14.3	5 23.8	0 0.0
⑫豊中市在宅医療・介護連携 支援センター	n %	2 9.5	1 4.8	8 38.1	3 14.3	3 14.3	4 19.0	0 0.0
⑬豊中市保健所	n %	4 19.0	3 14.3	6 28.6	2 9.5	3 14.3	3 14.3	0 0.0
⑭豊中市役所 （保健所を除く）	n %	3 14.3	2 9.5	9 42.9	2 9.5	2 9.5	3 14.3	0 0.0

問8 豊中市において、以下の各場面で医療と介護の連携がとれていると思いますか。(①～④でそれぞれ○は1つ)

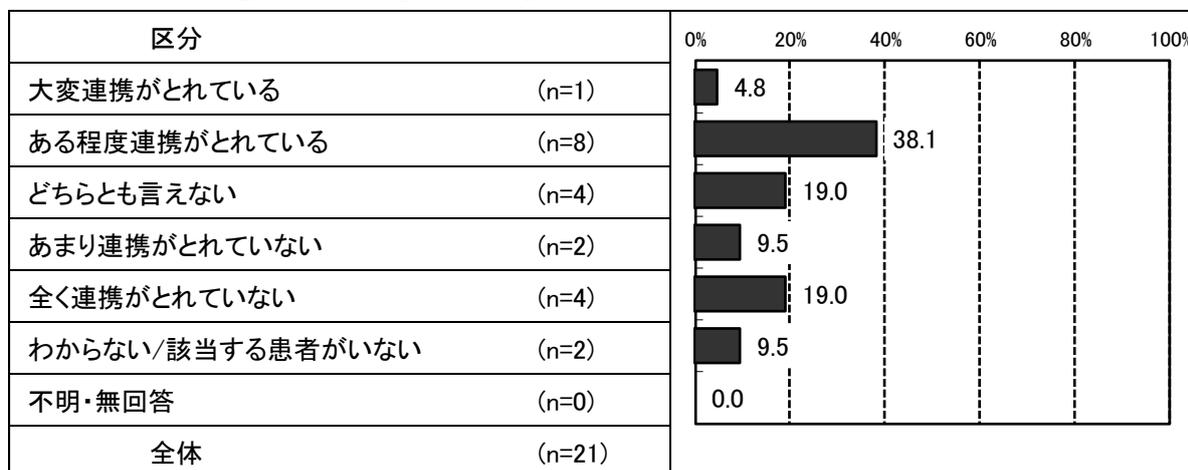
①日常療養

■ 日常療養の連携については、「どちらとも言えない」が42.9%で最も多く、「ある程度連携がとれている」(33.3%)、「大変連携がとれている」と「あまり連携がとれていない」が、ともに9.5%ずつづいています。



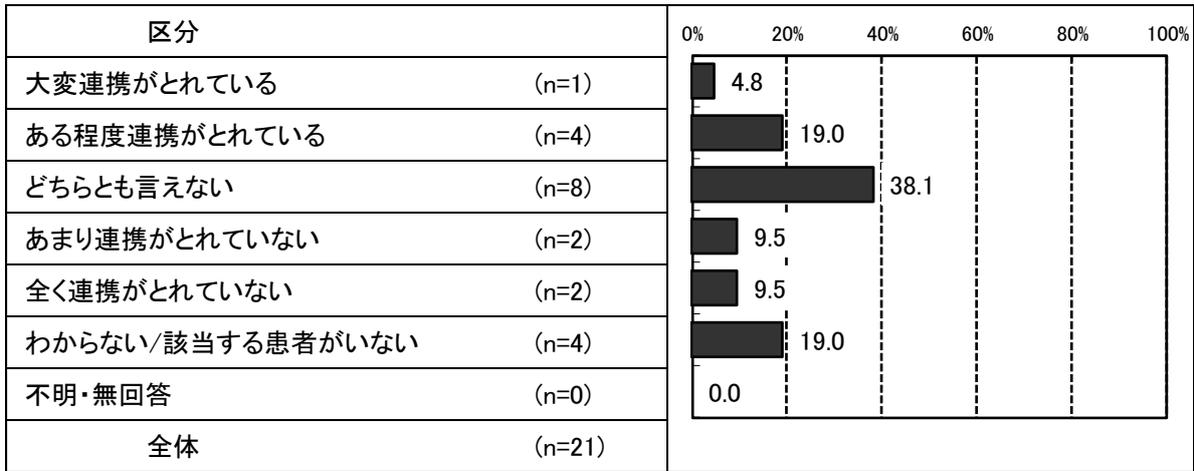
②入退院時

■ 入退院時の連携については、「ある程度連携がとれている」が38.1%で最も多く、「どちらとも言えない」と「全く連携がとれていない」が、ともに19.0%、「あまり連携がとれていない」と「わからない/該当する患者がいない」が、ともに9.5%ずつづいています。



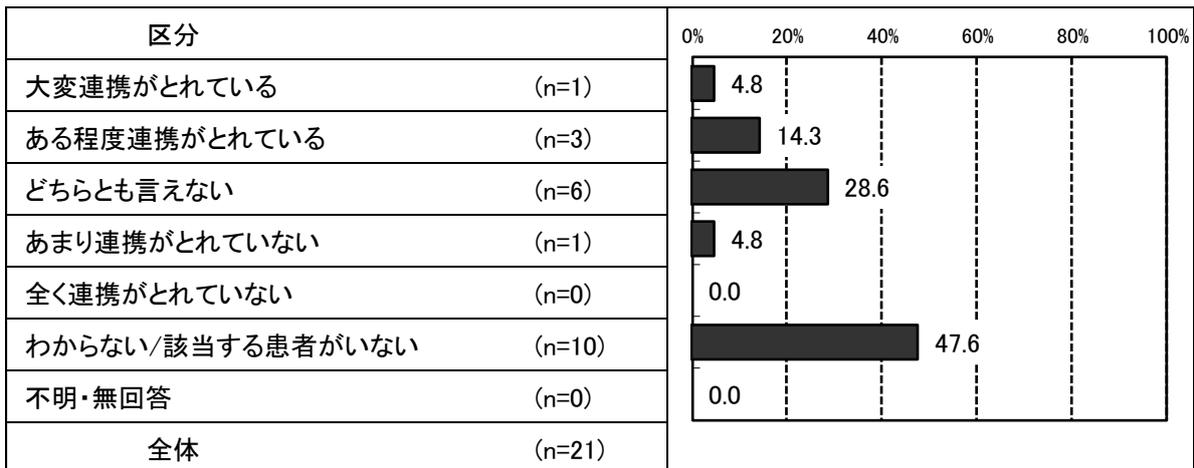
③急変時

■ 急変時の連携については、「どちらとも言えない」が38.1%で最も多く、「ある程度連携がとれている」と「わからない/該当する患者がいない」が、ともに19.0%、「あまり連携がとれていない」と「全く連携がとれていない」が、ともに9.5%でつづいています。



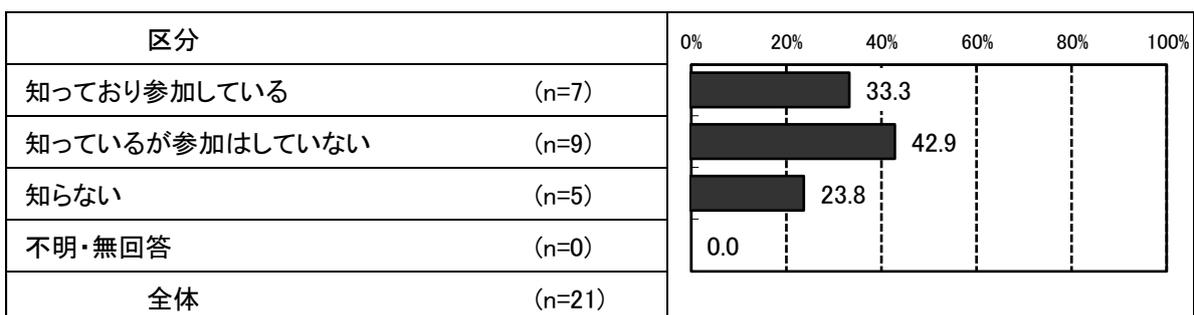
④看取り

■ 看取りの連携については、「わからない/該当する患者がいない」が47.6%で最も多く、「どちらとも言えない」(28.6%)、「ある程度連携がとれている」(14.3%)がつづいています。



問9 豊中市では在宅医療・介護連携支援センター運営事業を通じて、医療・介護関係者を対象に、在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会など開催していますがご存じですか。(○は1つ)

■ 在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会については、「知っているが参加はしていない」が42.9%で最も多く、「知っており参加している」(33.3%)、「知らない」(23.8%)がつづいています。



問 10 在宅医療・介護連携支援センター運営事業で企画してほしいことなどがあればご自由にご記載下さい。

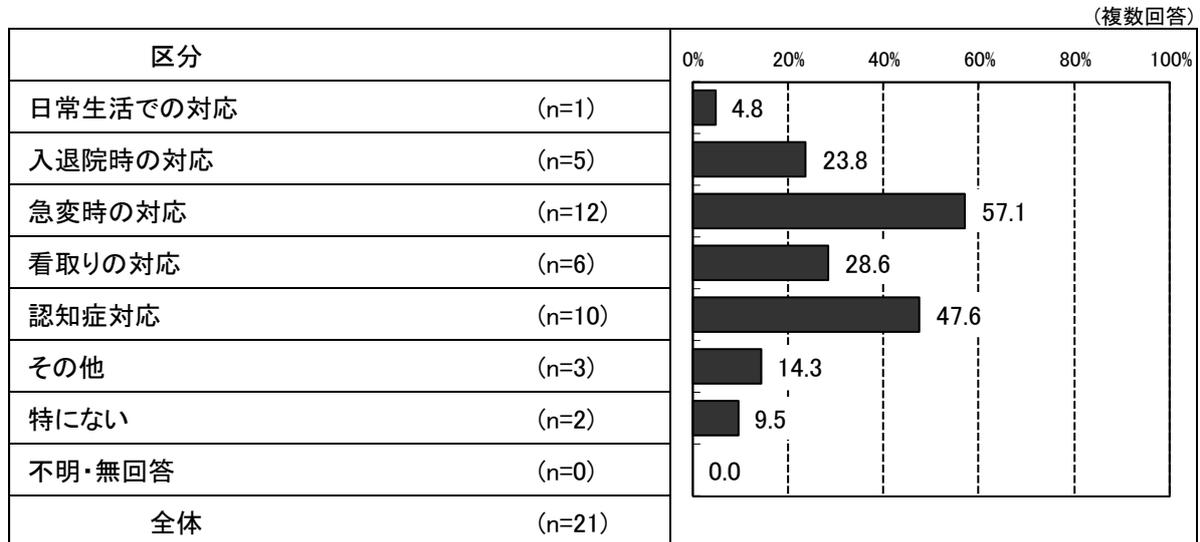
他職種との交流。

依頼があれば状況によってご対応いたしますので、ご連絡して頂いて構いません。

4. 在宅医療で困難に感じること

問 11 在宅医療を実施している中で、貴施設において困難に感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

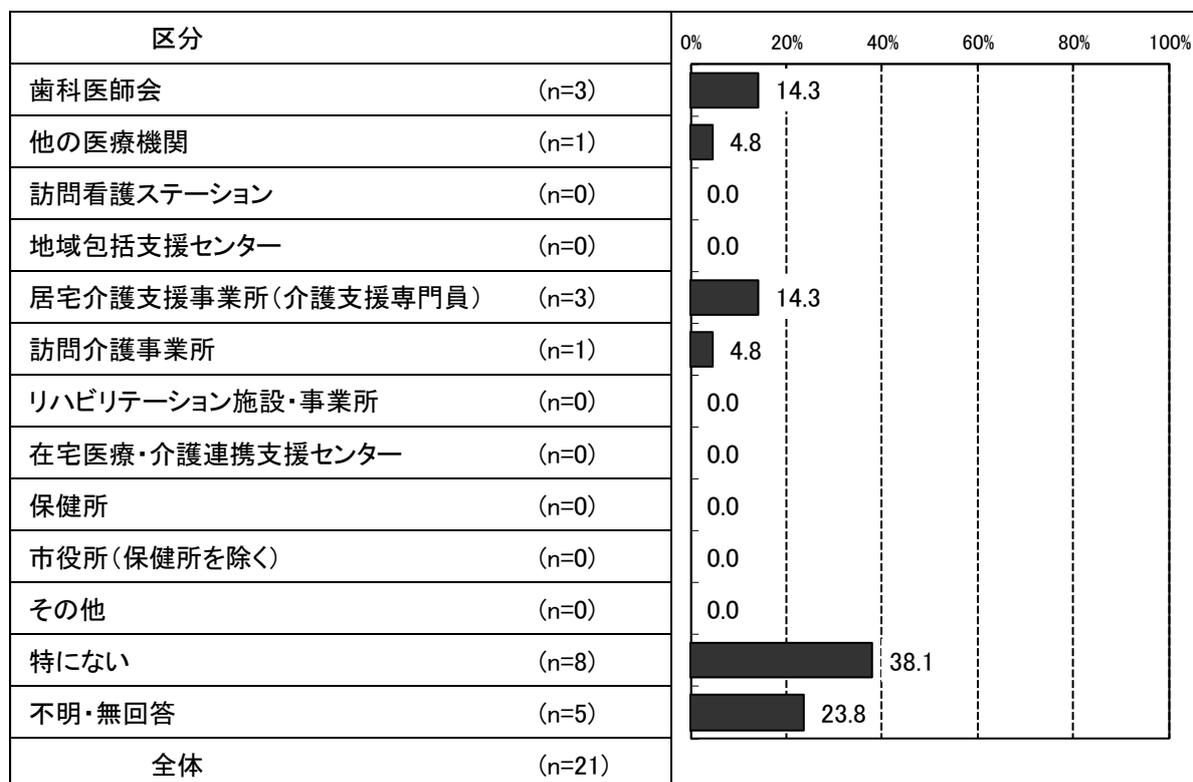
- 在宅医療を実施している中で困難に感じることは、「急変時の対応」が 57.1%で最も多く、「認知症対応」（47.6%）、「看取りの対応」（28.6%）がつづいています。



5. 在宅医療に関する主な相談先

問 12 在宅医療を実施している中で、貴施設において困難な事案に遭遇した場合、主にどこに相談を行っていますか。(主なところ1つに○)

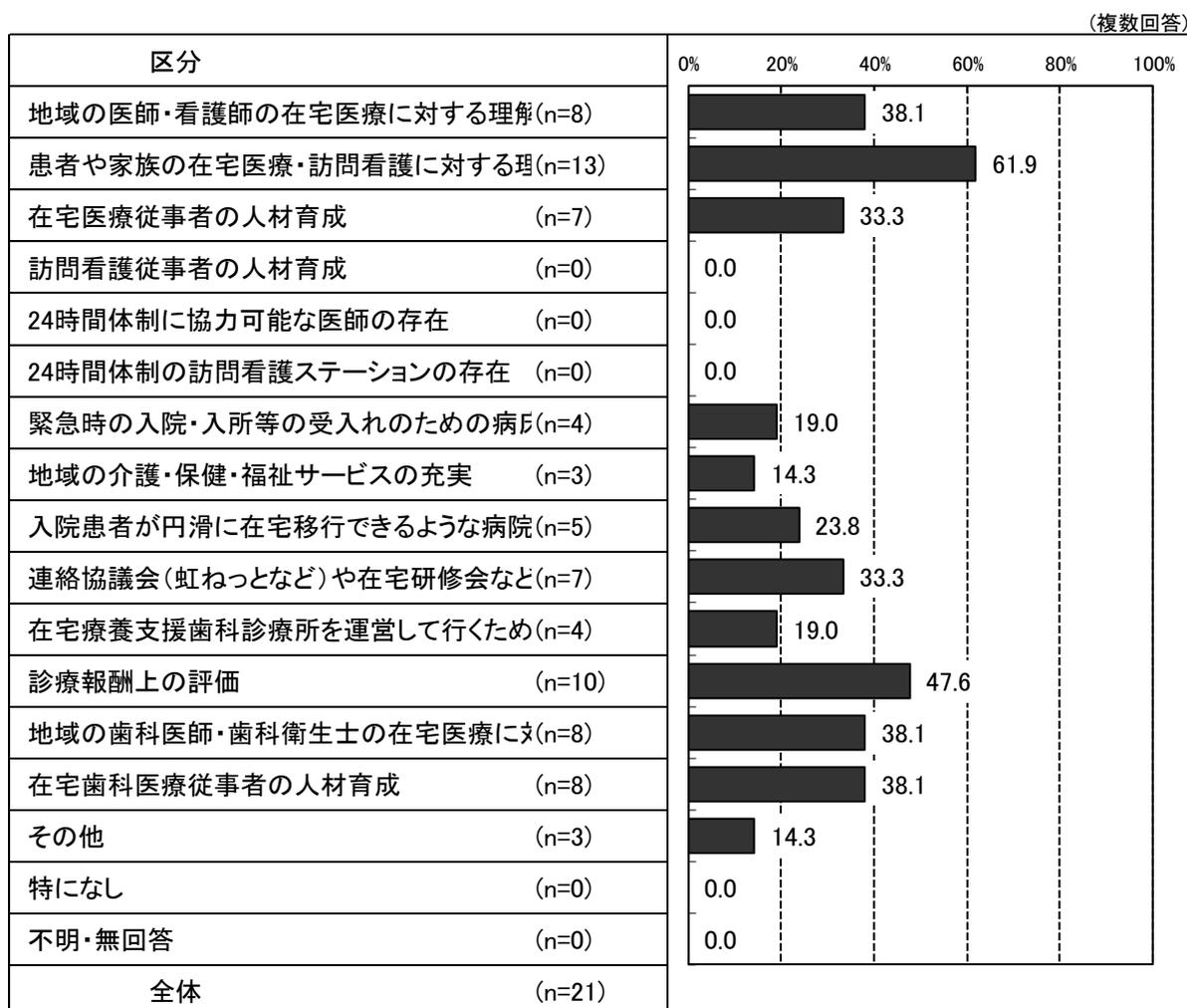
- 在宅医療で困難な事案に遭遇した場合、主にどこに相談をするかについては、「特にない」が 38.1%で最も多く、「歯科医師会」と「居宅介護支援事業所（介護支援専門員）」が、ともに 14.3%、「他の医療機関」と「訪問介護事業所」が、ともに 4.8%でつづいています。



6. 在宅医療の充実のために必要なこと

問 13 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことについては、「患者や家族の在宅医療・訪問看護に対する理解の向上」が61.9%で最も多く、「診療報酬上の評価」(47.6%)、「地域の医師・看護師の在宅医療に対する理解の向上」と「地域の歯科医師・歯科衛生士の在宅医療に対する理解の向上」と「在宅歯科医療従事者の人材育成」が、ともに38.1%でつづいています。

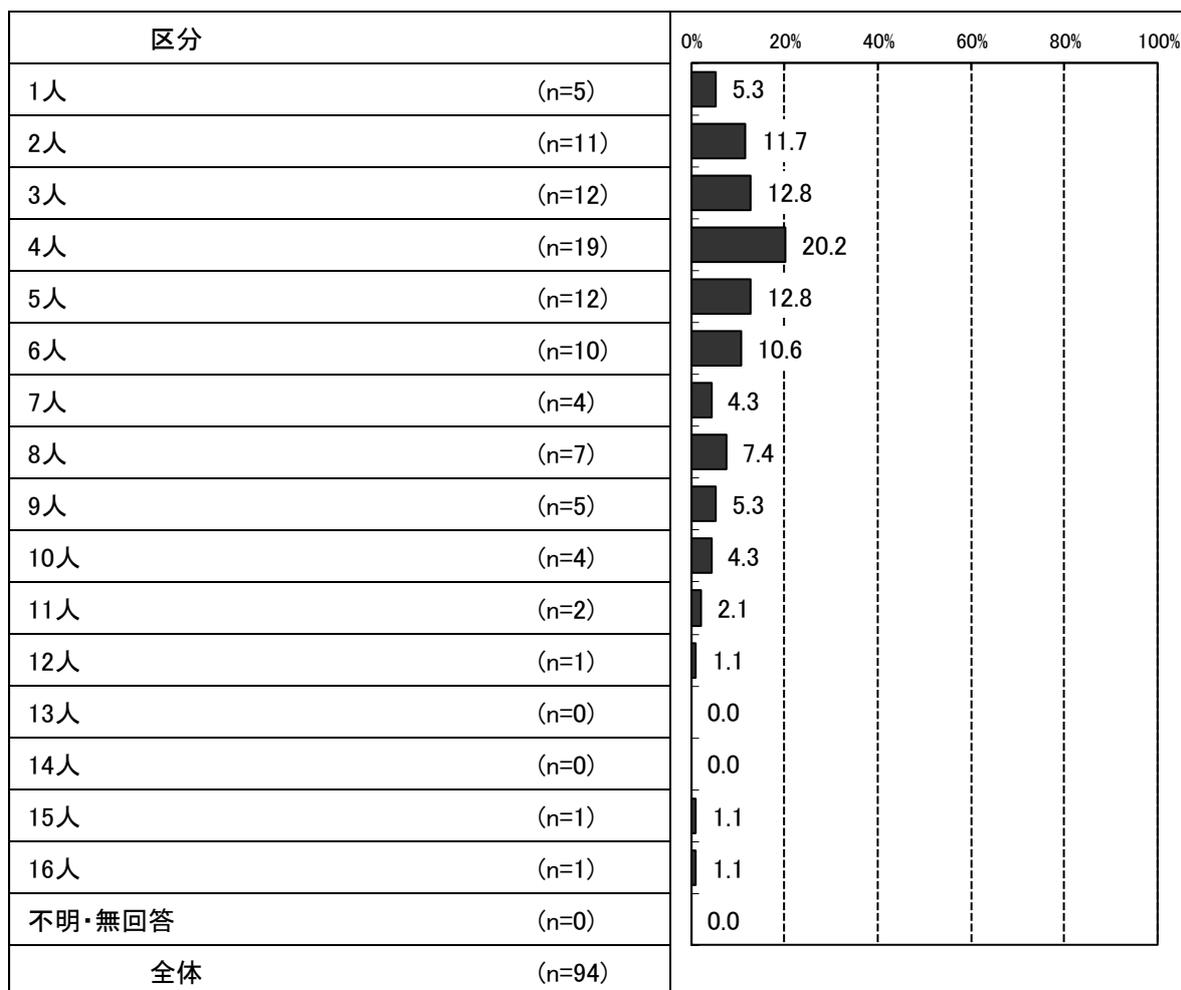


在宅患者訪問薬剤管理指導実施薬局アンケート調査の結果

1. 薬局の状況

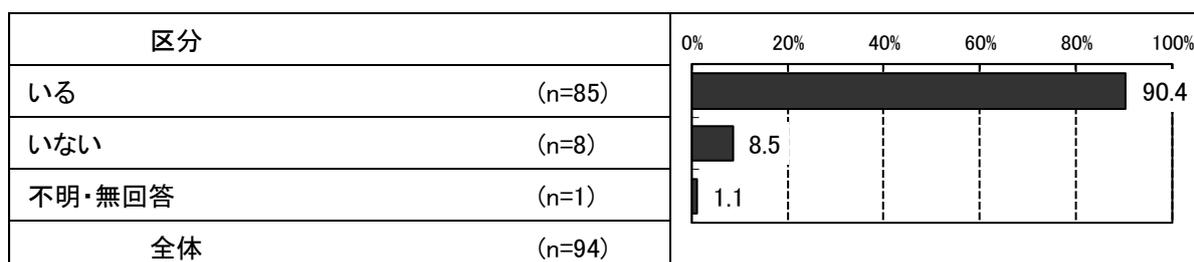
問1 貴施設の人員体制について、お答えください。

- 薬剤師数（実人数、常勤・非常勤の合計値）については、「4人」が20.2%で最も多く、「3人」と「5人」が、ともに12.8人、「2人」（11.7人）がつづいています。平均は5.2人となっています。



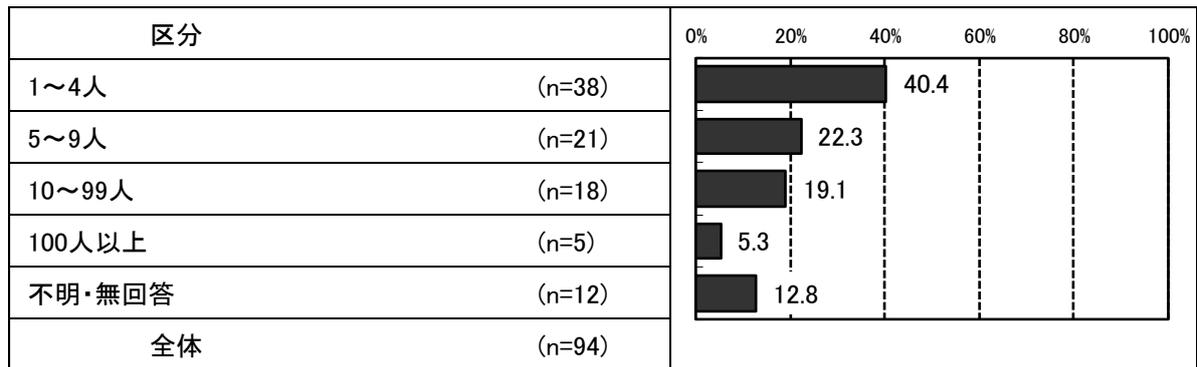
問2 令和5年1～3月中に訪問薬剤管理指導を行った患者がいますか。なお、「1. いる」を選択した場合は、訪問薬剤管理指導を行った患者数（実数）を記入してください。

- 令和5年1～3月中に訪問薬剤管理指導を行った患者の有無については、「いる」が90.4%、「いない」が8.5%となっています。



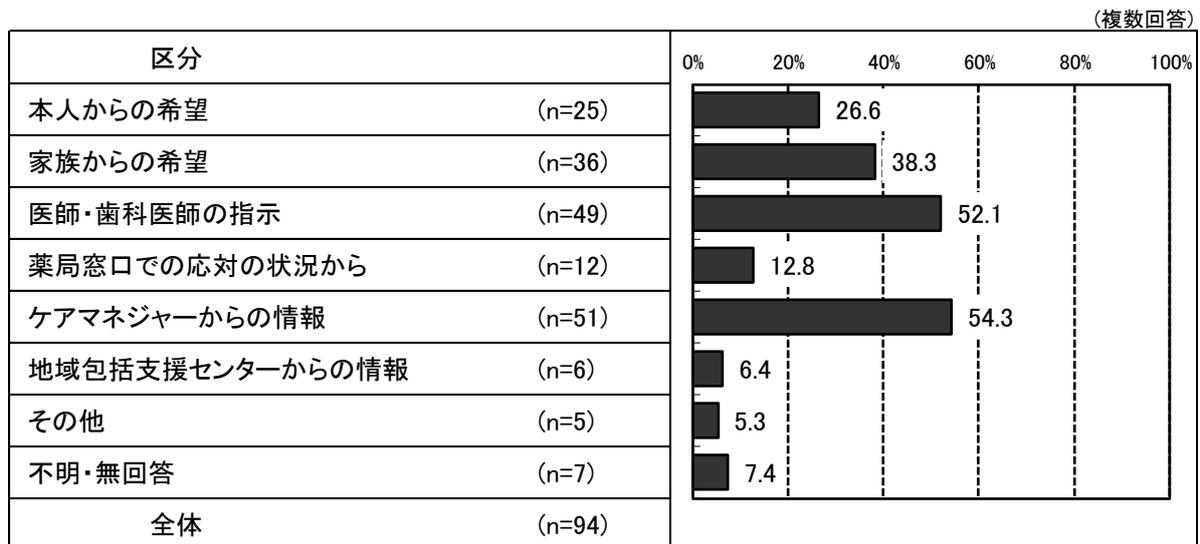
訪問診療を行った患者数（実数）

- 訪問診療を行った患者数（実数）については、「1～4人」が40.4%で最も多く、「5～9人」（22.3%）、「10～99人」（19.1%）がつづいています。平均は21.7人となっています。



問3 訪問をするに至ったきっかけについて、あてはまるもの全て選んでください。

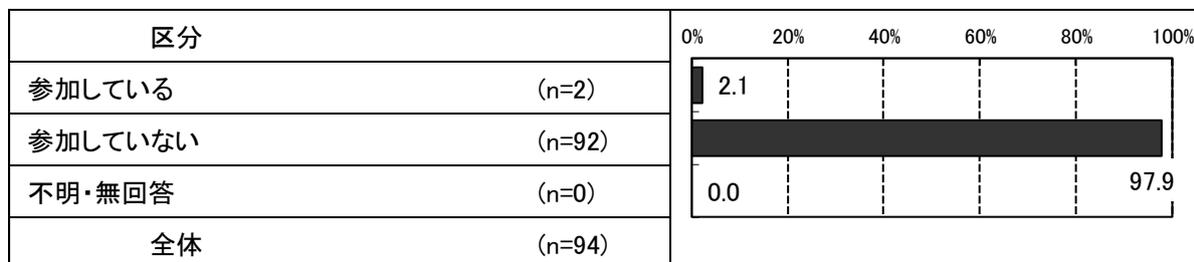
- 訪問薬剤管理指導を行うきっかけについては、「ケアマネジャーからの情報」が54.3%で最も多く、「医師・歯科医師の指示」（52.1%）、「家族からの希望」（38.3%）がつづいています。



2. 退院時カンファレンスや事例検討の場への参加状況

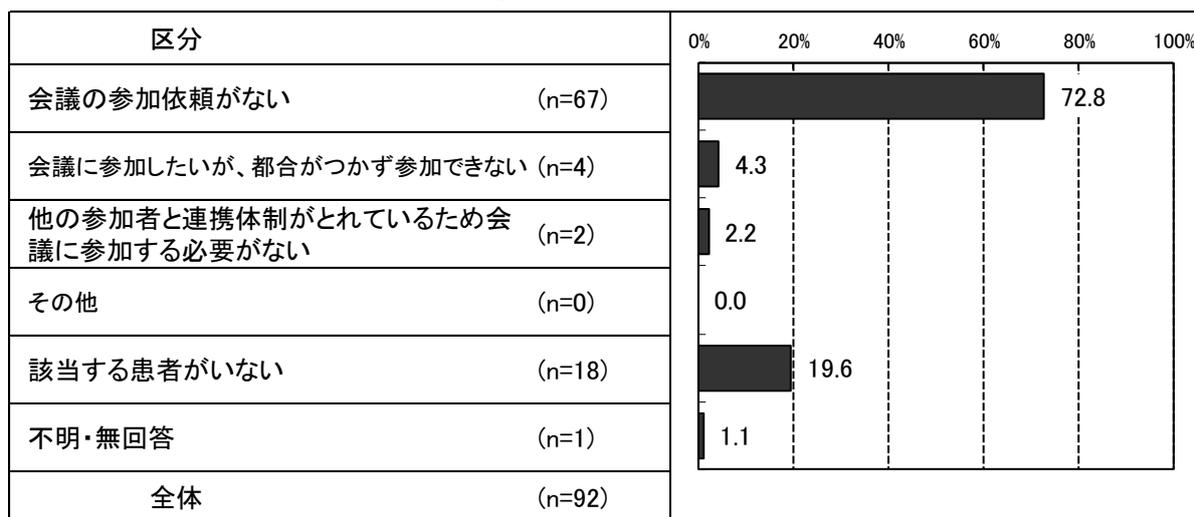
問4 病院からの退院患者(受け持ち患者)について、退院時カンファレンスに参加していますか。
(○は1つ)

- 退院時カンファレンスに参加しているかについては、「参加していない」が97.9%、「参加している」が2.1%となっています。



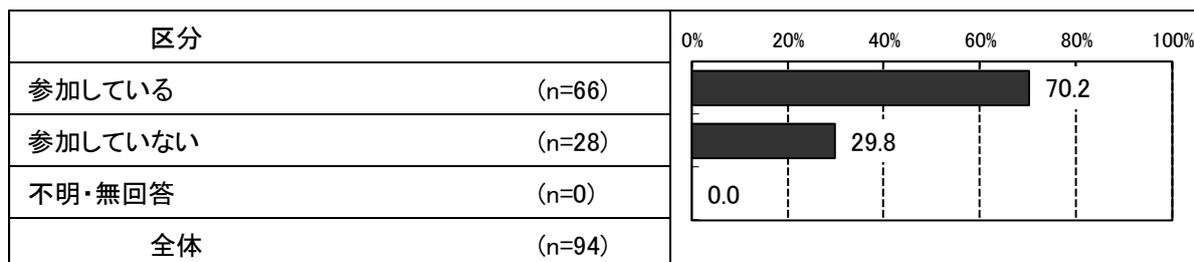
参加していない理由

- 「会議の参加依頼がない」が72.8%で最も多く、「該当する患者がない」(19.6%)、「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」(4.3%)がづづいています。



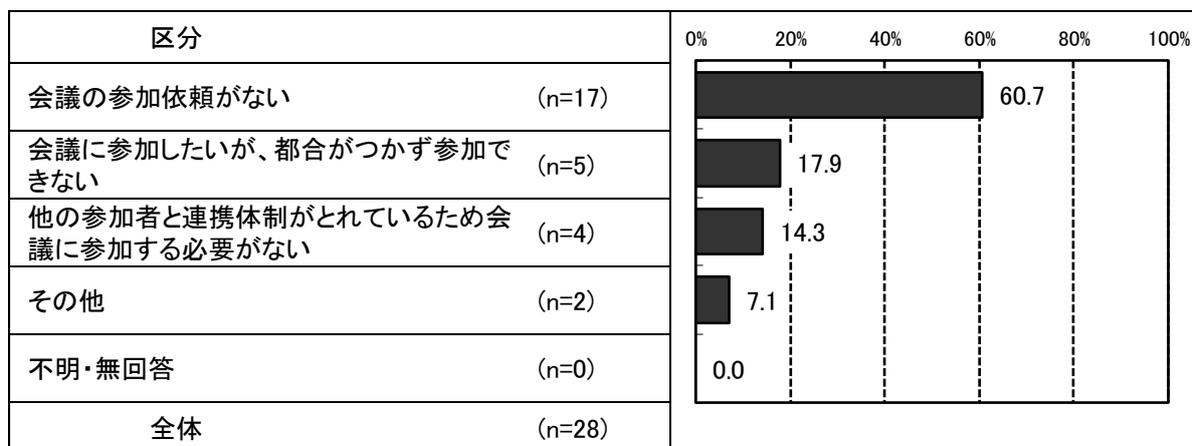
問5 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加していますか。(○は1つ)

- 他職種と定期的に情報交換や事例検討をする場に参加しているかについては、「参加している」が70.2%、「参加していない」が29.8%となっています。



参加していない理由

- 「会議の参加依頼がない」が60.7%で最も多く、「会議に参加したいが、都合がつかず参加できない」(17.9%)、「他の参加者と連携体制がとれているため会議に参加する必要がない」(14.3%)がつづいています。



3. 他機関との連携状況

問6 貴施設と他機関との連携状況についておうかがいします。以下の①～⑮の各機関との連携状況について、あてはまるものそれぞれに○をつけてください。(○は1つずつ)

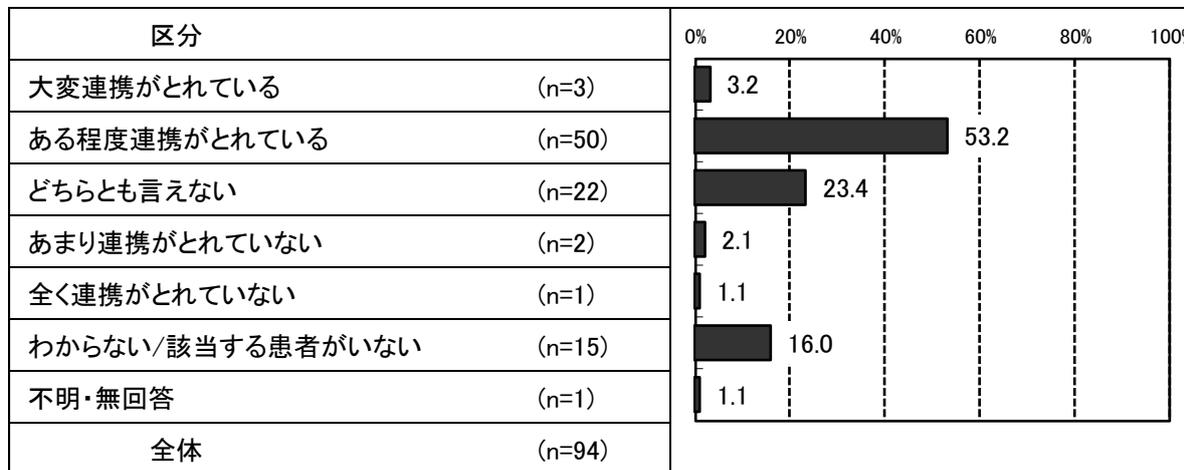
- 他機関との連携状況をみると、「連携できている」は「⑩居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)」が28.7%で最も多く、「③診療所(在宅療養支援診療所を除く)」(19.1%)、「②在宅療養支援診療所」(16.0%)がつついています。また、「やや連携できている」を加えると、「⑩居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)」が73.4%で最も多く、「⑧訪問看護ステーション」(57.5%)、「③診療所(在宅療養支援診療所を除く)」(55.3%)がつついています。
- 一方、「連携できていない」は「⑮豊中市役所(保健所を除く)」が21.3%で最も多く、「⑤歯科診療所(在宅療養支援歯科診療所を除く)」(19.1%)、「⑫リハビリテーション施設・事業所」(18.1%)がつついています。また、「あまり連携できていない」を加えると、「⑫リハビリテーション施設・事業所」が38.3%で最も多く、「⑤歯科診療所(在宅療養支援歯科診療所を除く)」(32.9%)、「⑬豊中市在宅医療・介護連携支援センター」と「⑮豊中市役所(保健所を除く)」(ともに31.9%)がつついています。
- なお、「関わりがない」は「④在宅療養支援歯科診療所」が59.6%で最も多く、「⑤歯科診療所(在宅療養支援歯科診療所を除く)」(46.8%)、「⑫リハビリテーション施設・事業所」(34.0%)がつついています。

全体=94		連携 でき ている	やや 連携 でき ている	どちら とも 言 えない	あまり 連 携 でき て い ない	連 携 でき て い ない	関 わり が な い	不 明 ・ 無 回 答
①病院	n	9	32	18	14	11	8	2
	%	9.6	34.0	19.1	14.9	11.7	8.5	2.1
②在宅療養支援診療所	n	15	34	16	4	4	17	4
	%	16.0	36.2	17.0	4.3	4.3	18.1	4.3
③診療所 (在宅療養支援診療所を除く)	n	18	34	19	7	5	8	3
	%	19.1	36.2	20.2	7.4	5.3	8.5	3.2
④在宅療養支援歯科診療所	n	0	1	10	13	14	56	0
	%	0.0	1.1	10.6	13.8	14.9	59.6	0.0
⑤歯科診療所(在宅療養支援 歯科診療所を除く)	n	1	3	15	13	18	44	0
	%	1.1	3.2	16.0	13.8	19.1	46.8	0.0
⑥病院内薬局(病院薬剤師)	n	1	20	24	13	14	19	3
	%	1.1	21.3	25.5	13.8	14.9	20.2	3.2
⑦他の調剤薬局	n	12	29	23	8	12	10	0
	%	12.8	30.9	24.5	8.5	12.8	10.6	0.0
⑧訪問看護ステーション	n	12	42	21	5	3	10	1
	%	12.8	44.7	22.3	5.3	3.2	10.6	1.1
⑨地域包括支援センター	n	8	29	30	8	9	9	1
	%	8.5	30.9	31.9	8.5	9.6	9.6	1.1
⑩居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	n	27	42	15	5	2	3	0
	%	28.7	44.7	16.0	5.3	2.1	3.2	0.0
⑪訪問介護事業所	n	10	35	21	10	7	11	0
	%	10.6	37.2	22.3	10.6	7.4	11.7	0.0
⑫リハビリテーション施設・ 事業所	n	3	5	18	19	17	32	0
	%	3.2	5.3	19.1	20.2	18.1	34.0	0.0
⑬豊中市在宅医療・介護連携 支援センター	n	2	9	25	14	16	28	0
	%	2.1	9.6	26.6	14.9	17.0	29.8	0.0
⑭豊中市保健所	n	2	16	24	13	16	23	0
	%	2.1	17.0	25.5	13.8	17.0	24.5	0.0
⑮豊中市役所 (保健所を除く)	n	3	8	29	10	20	24	0
	%	3.2	8.5	30.9	10.6	21.3	25.5	0.0

問7 豊中市において、以下の各場面で医療と介護の連携がとれていると思いますか。(①～④でそれぞれ○は1つ)

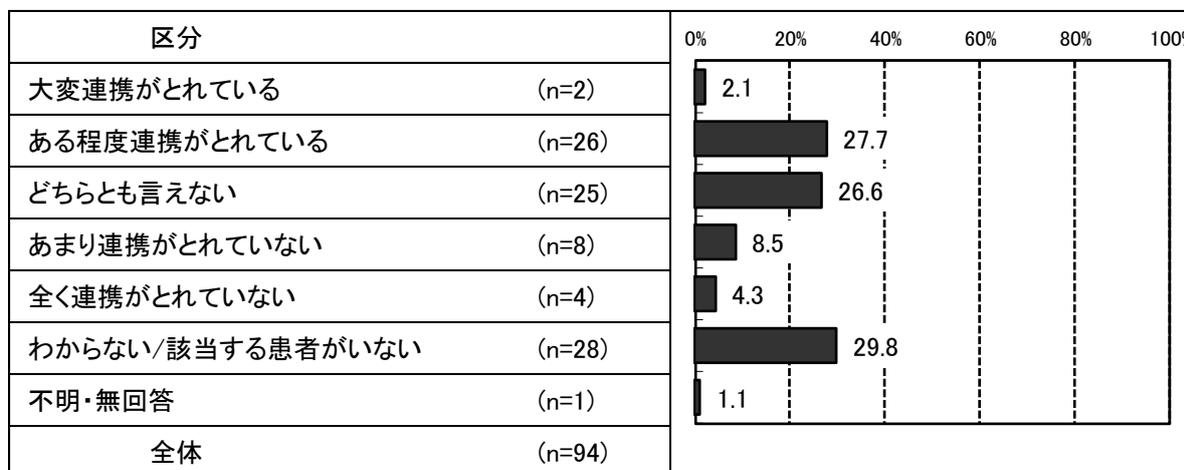
①日常療養

■ 日常療養の連携については、「ある程度連携がとれている」が53.2%で最も多く、「どちらとも言えない」(23.4%)、「わからない/該当する患者がいない」(16.0%)がつづいています。



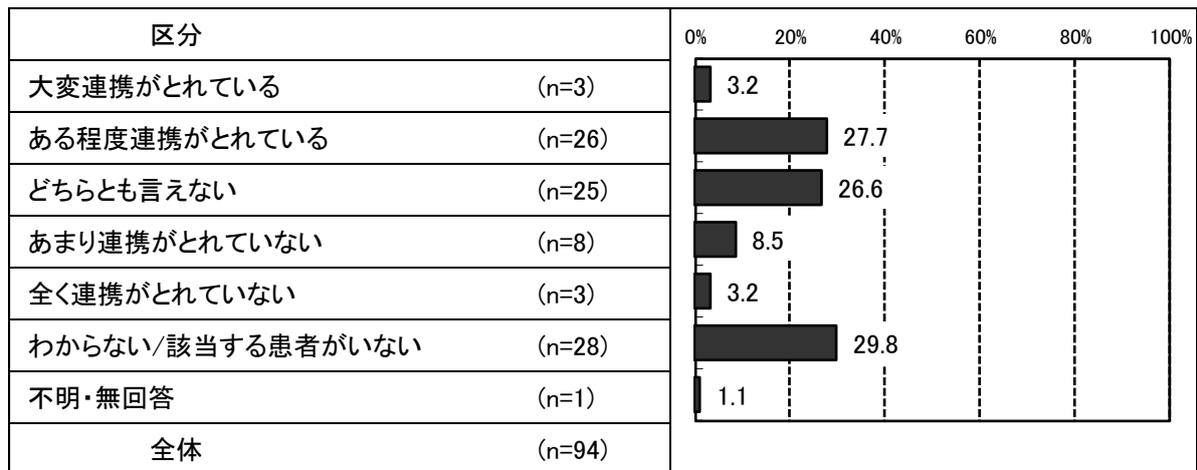
②入退院時

■ 入退院時の連携については、「わからない/該当する患者がいない」が29.8%で最も多く、「ある程度連携がとれている」(27.7%)、「どちらとも言えない」(26.6%)がつづいています。



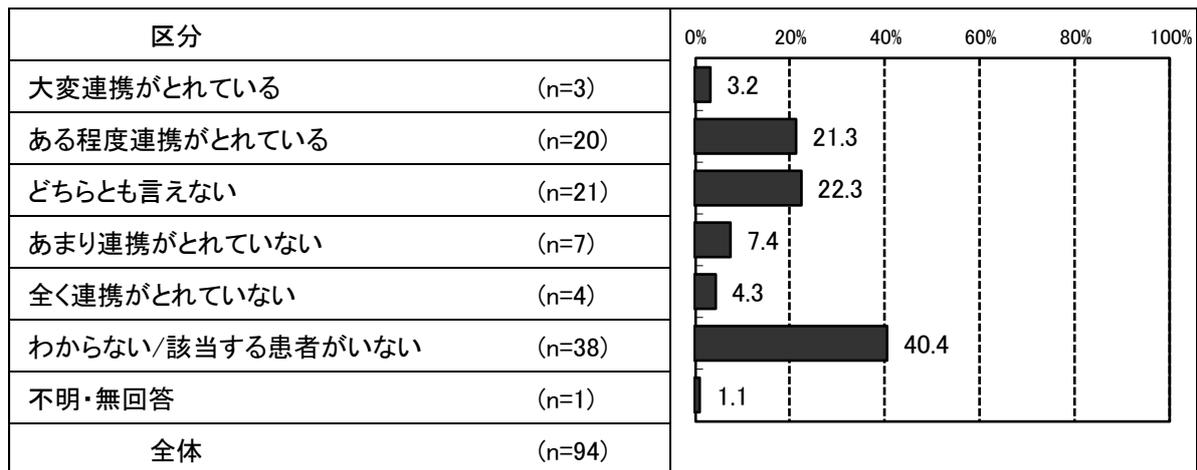
③急変時

■ 急変時の連携については、「わからない/該当する患者がいない」が29.8%で最も多く、「ある程度連携がとれている」(27.7%)、「どちらとも言えない」(26.6%)がつづいています。



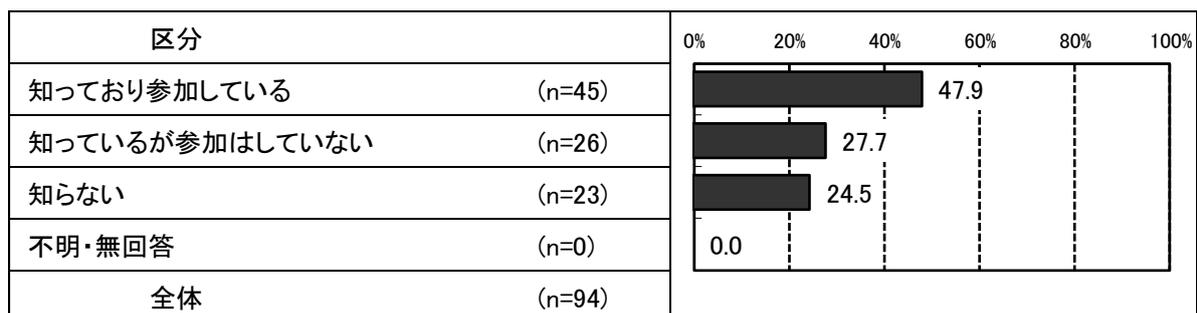
④看取り

■ 看取りの連携については、「わからない/該当する患者がいない」が40.4%で最も多く、「どちらとも言えない」(22.3%)、「ある程度連携がとれている」(21.3%)がつづいています。



問8 豊中市では在宅医療・介護連携支援センター運営事業を通じて、医療・介護関係者を対象に、在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会など開催していますがご存じですか。(○は1つ)

■ 在宅医療・介護連携に関する研修会や意見交換会については、「知っており参加している」が47.9%で最も多く、「知っているが参加はしていない」(27.7%)、「知らない」(24.5%)がつづいています。



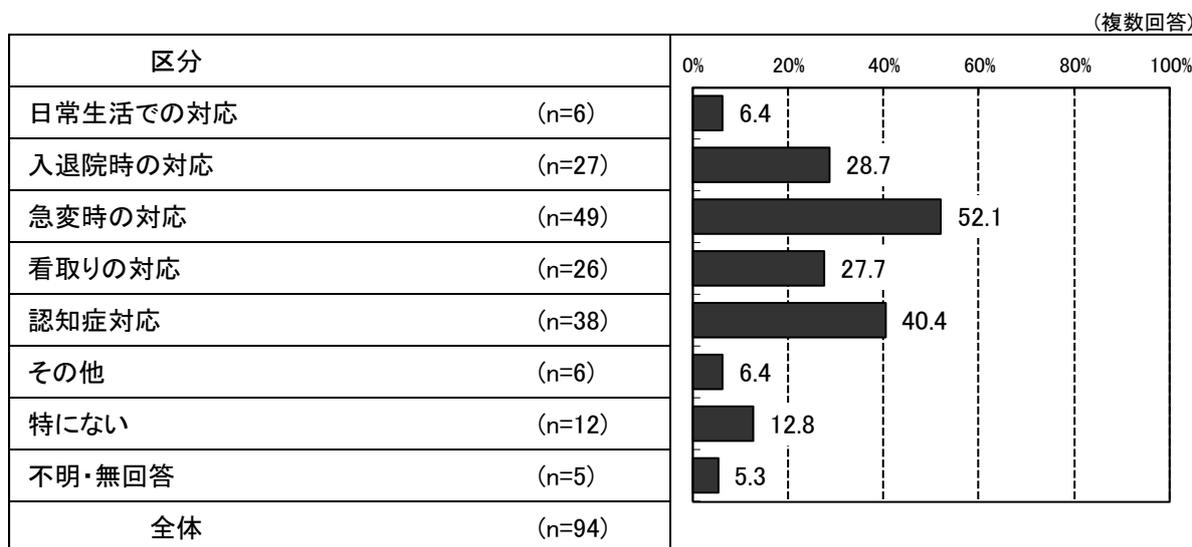
問9 在宅医療・介護連携支援センター運営事業で企画してほしいことなどがあればご自由にご記載下さい。

研修会。
ケア会議などあれば参加したい。
在宅やっている薬局の広報活動支援・病院スタッフも含めた研修会の開催。
名刺交換会がほしいです。
在宅患者さんの紹介。
担当患者様に対する多種職会議等に参加したい。開催しないのであれば書面等で会議として、開いていただいたりすると、ありがたいです。
多職種間での意見交換会、顔合わせのようなざっくばらんに話が出る機会が増えると思う。
薬局に向けた研修会が多くあれば参加したいと思います。
多職種の連携会「Zoom」。
研修会、意見交換会があれば参加したいと思います。情報提供して頂きたいと思います。

4. 訪問薬剤管理指導で困難に感じること

問10 訪問薬剤管理指導を実施している中で、貴施設で困難に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

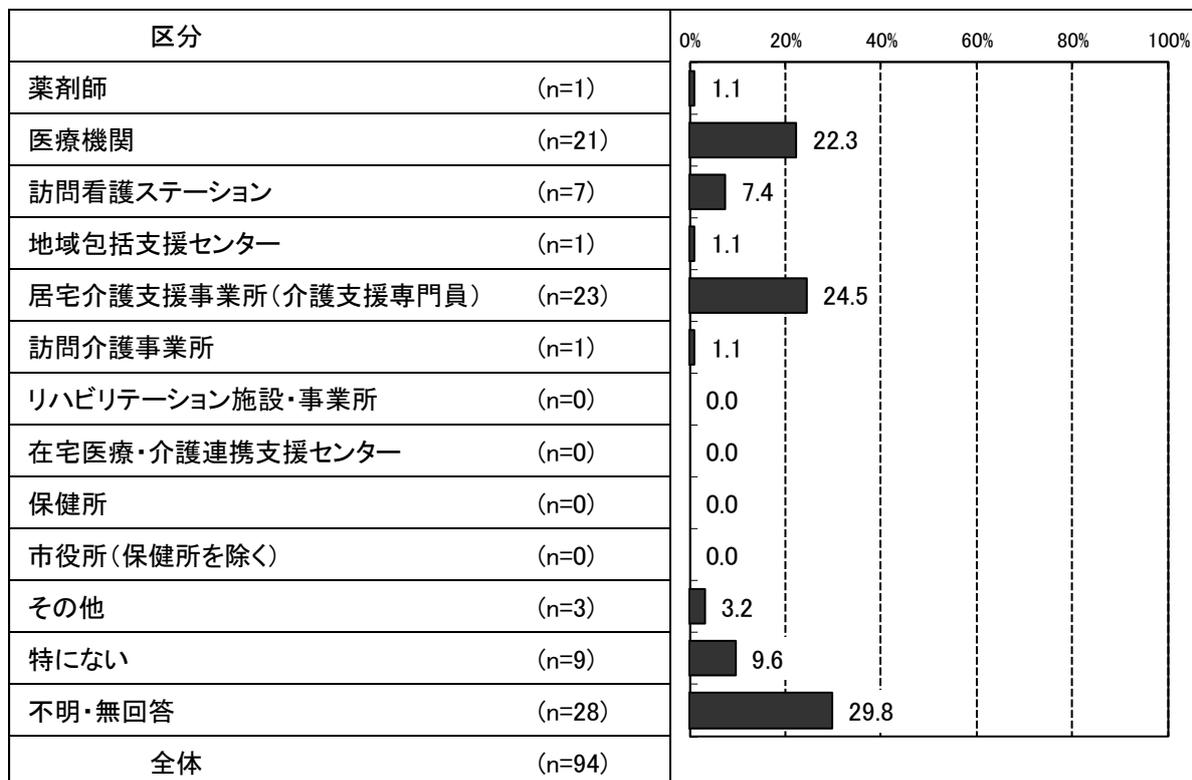
- 訪問薬剤管理指導を実施している中で困難に感じることについては、「急変時の対応」が52.1%で最も多く、「認知症対応」(40.4%)、「入退院時の対応」(28.7%)がつづいています。



5. 訪問薬剤管理指導に関する主な相談先

問 11 訪問薬剤管理指導を実施している中で、貴施設において困難な事案に遭遇した場合、主にどこに相談を行っていますか。（主なところ1つに○）

■ 訪問薬剤管理指導で困難な事案に遭遇した場合、主にどこに相談をするかについては、「居宅介護支援事業所（介護支援専門員）」が24.5%で最も多く、「医療機関」（22.3%）、「特にない」（9.6%）がつついています。



6. 在宅医療の充実のために必要なこと

問 12 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 地域において在宅医療が一層充実するために必要と思うことについては、「患者や家族の在宅医療・訪問看護に対する理解の向上」が54.3%で最も多く、「診療報酬上の評価」(41.5%)、「在宅医療従事者の人材育成」と「在宅患者訪問薬剤管理指導を行っている薬局を運営して行くための相談窓口・支援体制」が、ともに37.2%でつづいています。

